

広報いちのせき chinoseki I-Style

中東北の拠点都市一関の
元気を発信するマガジン

4.1

April
2016 No.253

Stylish & Smiling, Anytime, By Your Side, With Your Life
<http://www.city.ichinoseki.iwate.jp>

★COVER

特集「hope」より
販売を再開した
原木シイタケ生産者

佐藤三喜雄さんら



特集
まちづくり
正念場!!

元気のひみつ

熊谷孝子さん

花泉町日形

笑顔でGOOD!

志田玲奈さん

釜根町折壁

わたしの夢

松川直人さん

磐清水小6年

市役所からのお知らせ

高齢者・障がい者 28年度の福祉乗車券を交付
おたふくかせ・大人の風しん 予防接種費用の一部を助成
行政改革の効果は61億3,400万円
シイタケ・山菜類の出荷制限等の状況



力戦奮闘

球春到来

pick-up

涌津スポーツ少年団
川崎エンジェルス
一関一高ソフトボール部
花泉中野球部

東日本大震災から5年
特集後編

hope

復興を祈る、未来を願う

平成28年度

施政方針

まちづくり正念場!!
いちのせき創生予算

勝部修市長は、第56回市議会定例会で平成28年度の施政方針を示しました。28年度当初予算の総額は632億7千3百万円、前年度比4.5%の減です。この予算を「まちづくり正念場!!いちのせき創生予算」と位置付け、市民の皆さんと共に確かなまちづくりを進めます。

1. はじめに

国は一億総活躍社会に向けた緊急対策を打ち出しました。首都圏だけでなく、当地域の景気の明るさが広がることを期待しています。政府は環太平洋パートナーシップ協定(TPP)対策として「攻めの農政への転換」を促しています。生産農家の不安が払拭できるよう、引き続き、国に対して要望していきます。

平成28年度は、合併から11年目の年です。新たな総合計画の将来像に掲げた「みつけよう育てよう郷土の宝 いのち輝く一関」の実現に向けて、総合計画の着実な推進を図ります。

3. 将来に向けたまちづくり

①国際リニアコライダー(ILC)を基軸としたまちづくり
ILCは、世界で一つだけ建設される最先端の研究施設です。日本の未来を大きく変える可能性秘めた夢のあるプロジェクトであり、日本が国際貢献できる数少ないプロジェクトです。

また、世界の研究者が、この地で

研究を重ねることで、教育や文化産業などの分野に、長期にわたって効果が及ぶことが期待されます。

ILCも長期的な視点に立つて受け入れ態勢を整備しなくてはなりません。

政府には、早期に誘致を表明するよう、関係自治体、関係団体と共に要望します。ILCを見据えたまちづくりについても、世界中から訪れる研究者等とその家族が安心して生活できる、受け入れ環境の整備に向けて検討を行います。

②資源エネルギー循環型のまちづくり

ILCを基軸としたまちづくりと合わせ、資源やエネルギーが循環するまちを目指します。

去る1月25日、平成32年に開かれる東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の中間報告で、当市が提案する趣旨を踏

押しするのに極めて有効です。一昨年、新笹ノ田トンネルの実現のために寄せられた、9万人の署名の思いをくみ、沿岸地域と連携して、実現に向けて取り組みます。

③協働によるまちづくりの推進

協働のまちづくりは、地域の将来を築いていくためには欠かせない仕組みです。

現在、各地域では地域協働体の設立や地域の将来構想である地域づくり計画策定が進んでいます。身近な地域課題の解決や地域の特性を生かした市民主体の地域づくり活動が活発化しています。

協働による地域づくりは、地域協働体、市民、各種団体等、それぞれの主体による役割分担のもとに、市民一人一人が当事者となり、地域のことを考え、その発想を自ら実践する自主自立の取り組みが不可欠

まえて使用済み小型家電から回収した金属でメダルを作る内容が盛り込まれました。

4. 最優先で取り組む施策

①まち・ひと・しごこの創生

市民一人一人が夢や希望を持ち、豊かな生活を安心して営むことができる「まち」の形成。地域社会を担う個性豊かで多様な人材となる「ひと」の確保。魅力ある多様な「しごと」の創出。この3つを一体的に推進していくことが人口減少の抑制につながると思っています。

当市の人口は、12万1625人

欠であると考えています。

その自主自立の取り組みを進めるため、市民センターを、地域協働を推進し、充実させていく活動の拠点施設と位置付けました。地域の住民が主体となった協働の取り組みの活性化を期待しています。

5. 中東北の拠点都市一関の形成

①地域資源をみがき生かせる魅力あるまち

②農業の振興
当市の基幹産業である農業の振興と農村地域のコミュニティを発展させるため、TPP対策として打ち出される施策を活用し、積極的に事業を展開します。

農家所得の向上に向け、JAや関係機関、団体との一層の連携で、生産体制の強化や農畜産物の高付加価値化、6次産業化を進めるとともに、販路拡大などに取り組みます。

また、集落営農組織の育成や農地の集積を図り、中山間地域をはじめとする農業・農村の活性化を図ります。

一関のブランド力を高めるため、優れた観光資源と共に農畜産物を全国に売り込んでいくなど、「地産外商」の取り組みを展開します。また、首都圏などでの情報発信や販路の開拓を進め、一関ファンの拡大に努めます。

●林業の振興

一関地方森林組合との連携を強め、地域の林業振興やバイオマス産業都市構想に基づく森林資源の活

で、平成22年の前回調査と比較すると、およそ6千人減少しています(国勢調査速報値)。この数値には、沿岸津波被災地などからの避難者が含まれているので、実際の減少数はもっと多いと想定できます。

また、昨年策定した人口ビジョンでは、25年後の平成52年には、市の人口は7万5千人まで減少すると推計されます。

総合戦略に掲げた人口減少の対策に取り組み、8万6千人程度に留めたいと考えています。

●しごとづくり

若者の地元定着には雇用場の確保が絶対条件です。学校や家庭、そしてハローワークなどの関係機関、地域の企業や経済界、地域団体などが課題を共有し、一丸となって取り組まなくてはなりません。

●子育て応援

子育て支援、キャリア教育、就職

用について着実に取り組みます。

●工業の振興と企業の育成

技能、技術の習得を目指す研修の機会を設けるとともに、質の高いものづくりを支援します。また、事業誘致への積極的な取り組みを進めるとともに、新産業、新技術の創出支援や農商工連携などの支援に努めます。さらに、立地環境や企業の設備投資への優遇制度などの優位性をアピールし、整備中の貸し工場を含め、企業の誘致に努めます。

●商業の振興

事業資金の低利融資や利子補給、経営診断や運営相談の充実、起業支援など、工業分野も含め、中小企業の経営合理化、効率化を促進します。

商店街の活性化については、空き店舗への入居支援や集客につながるイベント開催などで、にぎわいの創出と地域コミュニティの形成を図ります。

●就労支援

地元企業への就職を増やすため、ハローワークと連携し、若者の地元企業への定着、女性や若者の起業支援、女性がいきいきと働くためのキャリアアップと就業支援に努めます。

また、学生やU・I・Jターン就職希望者等への支援として、平泉町、宮城県登米市、栗原市等と連携し、企業の専門技術者の確保を支援します。大学や高専等との連携によるインターシップの取り組みを促進します。



産地再生を願うシイタケの看板を設置した興田中生徒

支援、地元定着支援へと、子供の成長過程に合わせて、保健、医療、保育、教育、就職、結婚などの各分野を、点ではなく線でつなげ、切れ目のない支援をします。

●地域(まち)づくり

高齢になっても、健康で日常生活を送ることができるよう、健康長寿への取り組みに力を入れます。高齢化社会を見据えた政策を戦略的に打ち出すことが極めて重要です。

②東日本大震災からの復旧復興

東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う放射性物質による汚染対策は最重要課題であり、農林業の生産基盤の再生、側溝土砂の除去など、市民の安全安心に向け、引き続き取り組みます。

●放射性物質による汚染対策

汚染された牧草などの一時保管

と処分を進め、風評被害の払拭に努めます。

原木シイタケの生産は、露地栽培についても出荷制限が一部解除されるなど、明るい兆しもあります。産地再生に向けて一歩を踏み出した生産者を支援したいと考えています。

農林業系汚染廃棄物の処理は、一関地区広域行政組合と連携して取り組んでいます。牧草は、一般廃棄物との混焼して焼却処理をしています。今後、牧草以外の農林業系汚染廃棄物も、一時保管施設で管理を継続します。放射性物質濃度の低いほだ木や落葉層は、処理方法について、国や県と協議します。

側溝土砂は、市民の皆さんの理解と協力で地区内での一時保管が進んでいます。今後も、自治会等の協力を得ながら、適切な管理に努めます。また、国には、最終処分方法を明らかにするよう申し入れをしています。

東京電力に対する損害賠償請求は、引き続き、原因者としての誠実で早急な対応を求めます。

また、一関地域に建設中の災害公営住宅への入居が始まります。引き続き、被災された人たちの居住の安定を確保します。

●復興支道路の整備

当市と陸前高田市を結ぶ国道343号、当市と宮城県気仙沼市を結ぶ国道284号の整備は重要です。中でも国道343号新笹ノ田トンネルの整備は復興を後



地域の未来を真剣に話し合う住民





誰もが生きがいを持って暮らせる地域に

● 観光の振興
平泉と狼鼻溪、厳美溪などの周遊観光に向けた交通を確保します。仙台圏におけるキャンペーン等に取り組みます。また、全国ご当地もちサミット、一関・平泉バルーンフェスティバルや全国地ビールフェスティバル等を通じて、当市の観光情報を全国に発信し、誘客に努めます。
当市と平泉町において、観光地経営の視点に立った観光地域づくりを進めるためDMOの設立について検討するほか、広域連携推進事業に取り組みます。



新イベント「いす-1GP」では多くの参加者が交流

● 地域が賑わう活力あるまち
災害に強い道路ネットワークの構築のため、国道4号の交通事故対策事業の促進や、復興支援道路に位置付けられている国道284号、342号、343号の急カー

● 国・県道の整備
● みんなが交流して
● 観光の振興
● 観光の振興
● 観光の振興

● 治水対策・土砂災害への警戒
小堤と水門の整備促進と併せて、狭隘地区の治水対策を促進します。磐井川堤防改修事業に伴う周辺整備については、国土交通省と連携し整備を推進します。また、JR東北本線磐井川橋梁架け替えに向けた早期協議について、継続して要望します。
中小河川の治水事業については、過去の大震災を教訓とし

● 防災のまちづくり
大規模災害に備えた訓練を実施します。毎年3月11日の「となりきんじょ防災会議の日」の普及や自主防災組織に対するリーダー育成などの支援を継続します。地域防災のコーディネーターを養成し、自主防災組織の連携を強化します。
避難行動要支援者に対しては、支え合いによる避難支援や日常的な見守り活動などを促進します。

● 国民健康保険
当市の国保運営は、引き続き厳しい状況が見込まれています。社会保障制度改革による大きな転換期を迎えています。特定健康診査の推進など医療費の適正化に取り組むとともに、運営の安定化に努めます。
また、結婚支援については、男女の出会いの場づくりなど、県や隣接市町とも連携しながら支援を継続します。

● 住民の利便性の向上
マイナンバーカードを利用してコンビニで住民票等を取ってできるサービスを開始します。また、情報セキュリティの強化を図ります。
● 移住定住の促進
一関・平泉定住自立圏共生ビジョンに基づいて定住施策を推進します。住宅取得補助金や空き家バンクなどの制度で、新たな人材を地域で受け入れるための環境を整備します。

● 自ら輝きながら
次代の担い手を応援するまち
子育て世代への支援
予防接種の公費助成、中学生までの医療費無料化、幼稚園、保育所における第3子以降の無料化等を継続し、新たに不妊治療助成の対象を一般不妊治療まで拡充します。
また、新規の認可保育所の参入促進や、小規模保育事業所、家庭的保育事業所を増やします。保育士等人材バンクの活用等で保育士の確保を図り、待機児童の解消に努めます。

● 交通安全と防犯
安全に対する意識高揚を図るとともに、地域が取り組む防犯パトロール活動を支援します。
また、防犯灯の維持管理など、安全で住みよい地域づくりを支援します。
さらに、被害が急増している特殊詐欺については、被害防止に向けた広報を強化します。

6. 市政運営の基本
当市の財政見直しは、普通交付税の算定の特例、いわゆる「合併算定替」が、合併特例期間の経過に伴い、平成28年度から段階的に縮減されるため、厳しい状況が見込まれます。
このため、平成28年度を初年度とする第3次行政改革大綱および第3次集中改革プランを推進し、市民起点に立った質の高い行政サービスを持続的に提供できるように、行政改革を進めます。
また、人口減少に対応した施策の展開や地域の発展には、近隣自治体との連携が欠かせません。宮城県登米市、同栗原市と共通の課題解決に連携して取り組んでおり、次回からは、この枠組みに平泉町が加わります。

● 文化芸術の振興
多様で活発な文化芸術活動を促進します。多くの市民が、優れた芸術に触れる機会を作ります。
● スポーツの振興
スポーツ活動の機会を提供し、環境整備や、施設利用者の利便性の向上に努めます。また、各種大会や講習会等の開催で競技力の向上を目指します。
● 世界文化遺産「平泉」と連携した地域づくり
地域住民と協働で遺跡、景観の保全に努めます。また、骨寺村荘園遺跡の発掘調査と文献研究を重点的に実施します。
世界文化遺産登録5周年に当たり、県、関係市町と連携しながら、拡張登録の実現に向けた取り組みを進めます。

● 環境対策
住宅用太陽光発電システムの設置を支援します。防犯灯、商店街街路灯などのLED化を計画的に進め、新エネルギー・省エネルギーの取り組みを推進し、低炭素社会の実現に向けた意識啓発に努めます。
また、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、空家の適

● 公園の整備
赤荻地区の整備を進め、遊具の安全点検や更新を行います。
● 水道事業
簡易水道事業の給水区域を拡張します。浄水場の建設など施設の改修、更新事業を実施します。
また、老朽管の更新と漏水調査を行います。
● みんなが安心して暮らせる笑顔あふれるまち
健康長寿のまち
生活習慣病予防や介護予防を含めた健康づくり、こころの健康づくりを推進します。



子供の成長に合わせた支援に力を入れます

7. おわりに
私にとって20年来の念願であるILCが、現実のものになろうとしています。国の有識者会議において、平成29年度末頃までには、政府へ検証結果の最終報告が行われま

● 地域医療
医療・介護分野における人材の育成、確保が不可欠です。医師確保については、新たに国保藤沢病院と市内県立病院などが取り組む総合診療専門医の養成事業を支援し、地域基幹病院の負担軽減を図るとともに、医師修学資金貸付事業を継続します。
介護分野でも、人材の確保、介護技術の習得、職員の定着支援などを目的に、介護人材育成事業を実施します。新たに医療介護従事者

● 地域医療
● 地域医療
● 地域医療

● 地域医療
● 地域医療
● 地域医療

す。ILCの実現に向けて、着実に前進していると捉えています。政府が判断するまでのここ数年間は、まさしく正念場です。
ILCが実現することで、平泉の文化遺産という世界の財産に加え、世界最先端の科学技術の拠点という、もう一つの世界の財産が形成されます。世界から注目を浴びる地域になるようなまちづくりを進めます。
未来に向け、志と覚悟をもって積極果敢に挑んでいく決意です。議員各位並びに市民の皆さんのご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

* 施政方針の全文は市のホームページに掲載しています



運動・スポーツへの関心を高めます

教育を充実させるとともに、積極的に自然体験、社会体験活動を取り入れます。

また、家庭や市内の他の教育機関と連携し、あいさつの推進など共通の目標を設定しながら、豊かな心を育みます。

●**健やかな体の育成**
小学校での業間運動や中学校での部活動などの運動機会を充実させるとともに、スポーツ少年団活動と連携しながら、体力の向上を図り、たくましい心身を育みます。

また、本年、開催される「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」の観戦などを通じ、運動・スポーツへの意欲、関心を高めます。

●**学校給食**
本年4月の西部第二学校給食センターの稼働により、全ての学校が給食センターからの供給となります。引き続き、細心の注意を払います。

●**いじめへの対応**
各学校の「いじめ防止基本方針」に基づき、組織的な対応により、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めます。また、一関市いじめ問題対策連絡協議会で、関係機関との情報共有や連携強化を図ります。

●**幼稚園**
引き続き、就学前の教育の充実や小学校との密接な連携を図るとともに、低所得者層への教材費等の補給給付を行うなど、子育て世代の経済的負担軽減を図ります。

●**義務教育施設**

ながら安全安心な給食の提供に努めます。

また、郷土食や地場産品を提供していくとともに、授業における食育指導や担当者研修の実施により、食育の充実を図ります。

●**特別支援教育**
幼児期からの就学相談体制の充実を図るとともに、幼稚園には、きめ細かな指導支援員を配置し、集団生活への適応を図ります。

また、小中学校の学校サポート員を増員し、一人一人に応じた支援を行います。

●**学校適応指導**
不登校児童生徒の減少に向け、教育相談員等による相談や適応支援教室「タンポポ広場」における学習支援活動、適応支援相談員による家庭訪問等を通じ、児童生徒一人一人の状況に応じて、きめ細かに対応します。

●**社会教育**
市民一人一人が生きがいのある充実した生活を送ることができるよう、生涯にわたる多様な学習機会の提供や学習活動の促進に努めます。

●**家庭教育**
規範意識や倫理観が、家庭での教育やしつけなどを通して育まれるものであることから、学校、家庭、

●**民間教育の振興**
私立高等学校生徒の授業料の補助により、保護者の負担軽減を図るとともに、私立学校運営費や一関修紅高等学校体育館の整備費を助成します。

●**学校安全**
放射能汚染対策として、引き続き、学校施設や給食食材等の放射線量を測定します。

また、スクールガードリーダーの巡回指導や地域ボランティア等による見守り活動により、登下校時における児童生徒の安全確保を図ります。

●**図書の運営**
新たな一関市立図書館振興計画に基づき、学習ニーズに対応した読書環境の充実と地域の特色を生かした運営を進め、地域の情報拠点として、ひとづくりや学びを支援します。

●**博物館**
当市にゆかりのある洋画家・向井潤吉の作品を紹介する企画展や東山町の松川二十五菩薩像を公開するテーマ展などを開催するとともに、出前講座等を展開します。

また、芦東山記念館、石と賢治のミュージアム、大籠キリシタン殉教公園と連携し、巡回博物館、移動博物館を開催し、身近な場所で地域の歴史・文化が学べる場を提供します。

●**芦東山記念館**
芦東山の生誕320周年に合わせ、記念講演会や国際シンポジウムを開催します。

●**石と賢治のミュージアム**
旧東北砕石工場の耐震補強工事を継続して行います。

●**誇りと愛着を醸成する文化の継承**
文化財の修繕や保護活動への助成等により、地域の文化財を良好な形で後世に伝えます。

また、市内の指定等文化財を紹介する「一関の文化財」の刊行や標柱・解説板の整備により、当市の歴史や文化の理解促進と文化財保護意識の啓発に努めます。

●**市が所有する歴史民俗資料や出土遺物の保存・公開**
旧洪民小学校校舎を活用し、公開施設の整備を進めます。

●**豊かな心の育成**
道徳教育や福祉・ボランティア



心豊かな人づくりを進めます

市民に開かれた教育委員会を指し、関係団体等と連携しながら、生涯にわたる市民の学習活動を促進し、一関市教育振興基本計画に掲げる基本目標である「学びの風土を礎に、心豊かにたくましく郷土の誇りを未来につなぐ一関の人づくり」に力を尽くします。

皆さんのご理解、ご支援、ご指導を心からお願いいたします。

おわりに

平成28年度 教育行政方針

学びの風土を礎に心豊かにたくましく郷土の誇りを未来につなぐ一関の人づくり

鈴木功教育委員会委員長が第56回市議会定例会で述べる



はじめに

平成27年度に総合教育会議が設置され、一関市教育に関する大綱が策定されました。

この大綱を踏まえ、今後、さらに市長と教育のあるべき姿や課題を共有し、教育施策を総合的に推進します。

今般、平成28年度から平成37年度までの10年間に於ける当市の教育の進むべき方向を示す一関市教育振興基本計画を策定し、教育振興の基本目標を学びの風土を礎に心豊かにたくましく郷土の誇りを未来につなぐ一関の人づくりと定めました。

この計画では、前期5年間で4つのプロジェクトを設定し、重点的に取り組みます。

1つ目は、子供たちに、語彙の豊かさ、ことばの感性、心の豊さを育むことを目指す「ことばと読書」ことばの響き」「ことばの先人」を柱とした「ことばを大切に育てる教育プロジェクト」です。

「ことばと読書」については、学校図書館と市立図書館との連携や読書普及員の配置により、読書活動を推進します。

「ことばの響き」については、幼稚園等や小学校で「ことばの時間」を設定し、ことばの力を育て、徳性や心の豊かさを育みます。

このため、幼稚園においては、絵



最先端科学を体験して夢を広げます

本を読み、遊びながら文字にふれる活動に取り組みます。平成28年度は、保育園、こども園を含め5園で先行して実施します。

また、小学校においては、美しい言葉や当市ゆかりの先人を取りあげる独自テキストの音読に取り組みすることとし、平成28年度はテキストを作成します。

「ことばの先人」については、博物館学芸員を活用した先人を学ぶ授業など郷土を知り、誇りを育む取り組みを進めます。

2つ目は、グローバル化していく現代社会に対応できる人材の育成を目指す「グローバル人材育成プロジェクト」です。

中学生社会体験事業などキャリア教育を進め、さまざまな体験の場を提供します。

さらに、中学生最先端科学体験研修の実施や外国語指導助手を幼

稚園、小中学校に派遣し、英語力の向上を図るなど、多様な人との関わりを通して、創造性やチャレンジ精神、国際理解などグローバル社会の中で求められる力を培います。

また、多文化共生、多様な価値観を理解するうえで土台となる子供たち自らのアイデンティティを確立させるため、郷土の先人や歴史・文化を題材にした学習を進めます。

3つ目は、地域とともに歩む学校を目指す「学校と地域の協働推進プロジェクト」です。

学校の情報や活動の様子をホームページで情報発信するとともに、保護者や地域住民が学校運営に参加する取り組みなど開かれた学校づくりを進めます。

また、豊富な社会経験を積んだ地域の人材をゲストティーチャーや学校支援ボランティアとして学校教育に生かす取り組みなど、地域社会全体で子供たちの健やかな成長を育む取り組みを進めます。

4つ目は、骨寺村荘園遺跡の世界文化遺産拡張登録を目指す「世界遺産拡張登録推進プロジェクト」です。

骨寺村荘園遺跡について調査研究を進め、県・関係市町と連携し、拡張登録に係る推薦書案の作成に取り組みます。

また、重要な文化的景観「関本寺の農村景観」の保全活用により地域住民と協働で取り組むとともに、骨

寺村荘園遺跡の理解を深めるための連続講座を開催するなど、遺跡の保護や、世界遺産拡張登録の気運醸成に取り組めます。

このほか、学校統合につぎましては、平成30年4月の新生千厩小学校の開校を目指し、統合に向けた準備を進めるとともに、校舎整備を行います。

また、一関地域の本寺小学校と厳美小学校、本寺中学校と厳美中学校の統合に向け、通学対策や交流事業などについて協議します。

花泉地域では、6つの小学校の統合に向けた懇談を進め、新たな学校づくりについて検討を行います。

●**確かな学力の育成**
算数・数学を重点教科に設定するとともに、学習支援員を配置し、学力向上を図ります。

また、標準学力検査等の結果を分析したリーフレットを作成して「わかる授業」が行われるよう各学校を支援するとともに、各種研修会の開催、指導主事や学習指導専門員の訪問指導などにより、教員の授業力向上に努めます。

併せて、家庭と連携し、児童生徒に家庭学習の習慣を促進します。

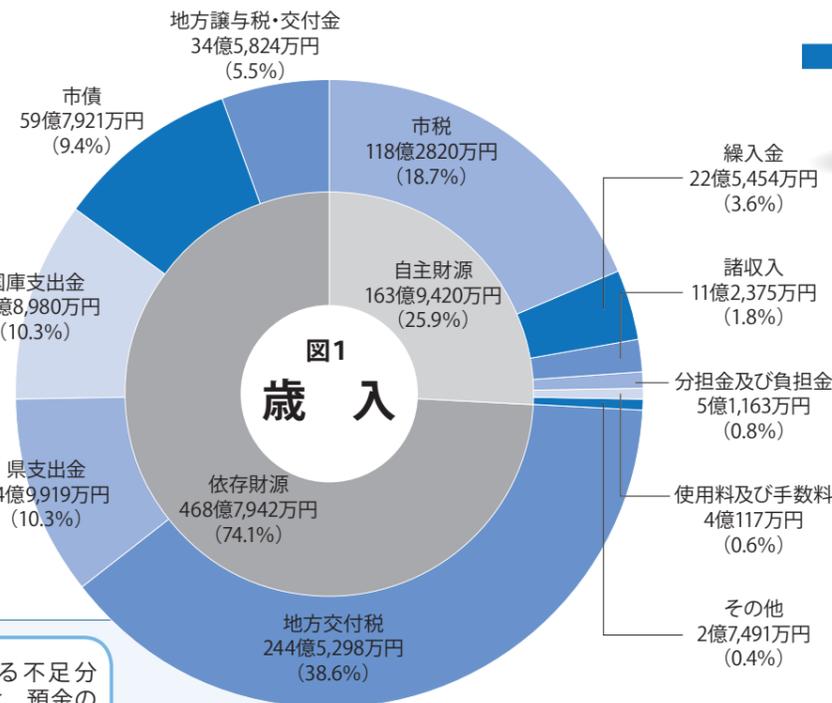
●**豊かな心の育成**
道徳教育や福祉・ボランティア

予算

予算 Act.1

国際リニアコライダー（I-LC）計画の実現や資源エネルギー循環型のまちづくりに向けた取り組み、市民センターの指定管理による地域住民が主体となった協働の取り組みの活性化など、今後のまちづくりにとって非常に重要な時期であり、まさしく正念場を迎えています。

中長期的な視点を持ち、市民と行政が一体となって、ふるさと一関の発展に向けた取り組みを進めようという予算です。

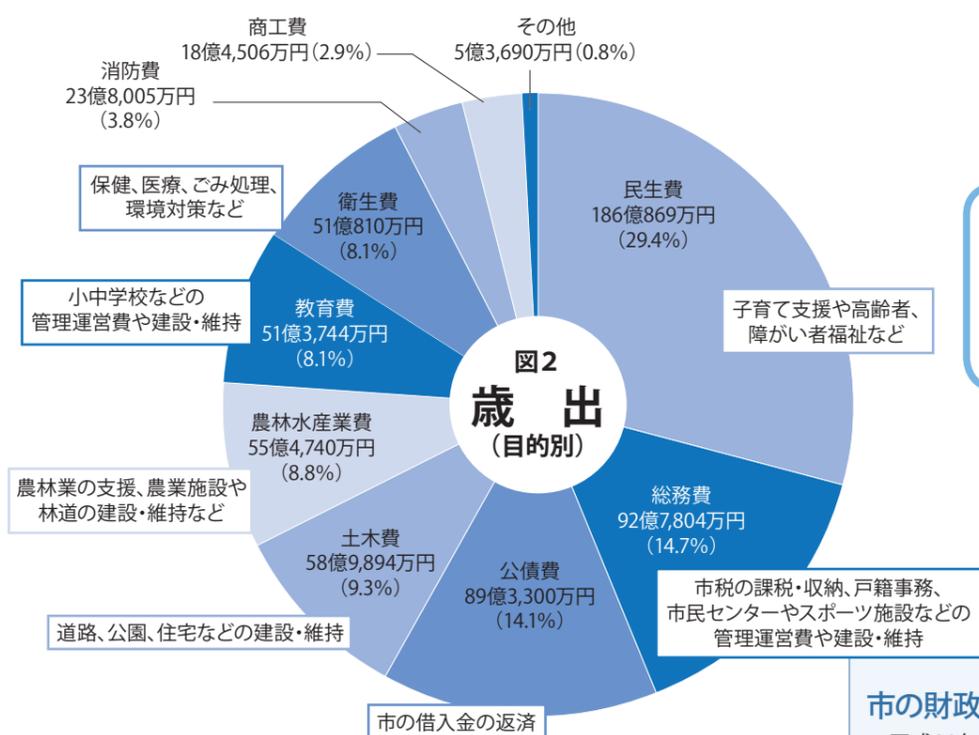


支出に対する不足分17万8千円は、預金の取崩し（繰入金）で対応

28年度予算の規模

会計名	予算額	27年度比増減率
一般会計	632億7,362万円	△4.5%
国民健康保険	154億3,837万円	△0.9%
後期高齢者医療	11億9,794万円	△3.8%
介護サービス事業	4,183万円	4.8%
特別会計		
金沢財産区	0万円	△100.0%
都市施設等管理	1億2,037万円	△27.8%
工業団地整備事業	1,389万円	51.0%
市営バス事業	1億9,132万円	7.0%
簡易水道事業	25億4,053万円	4.6%
下水道事業	36億4,685万円	3.3%
農業集落排水事業	4億6,963万円	△1.1%
浄化槽事業	1億2,755万円	△33.7%
物品調達	3,437万円	△4.5%
水道事業会計	46億3,910万円	9.8%
工業用水道事業会計	7,990万円	6.2%
病院事業会計	24億4,300万円	△3.4%
合計	942億5,827万円	△2.8%

一般会計 歳入歳出総額 632億7,362万円



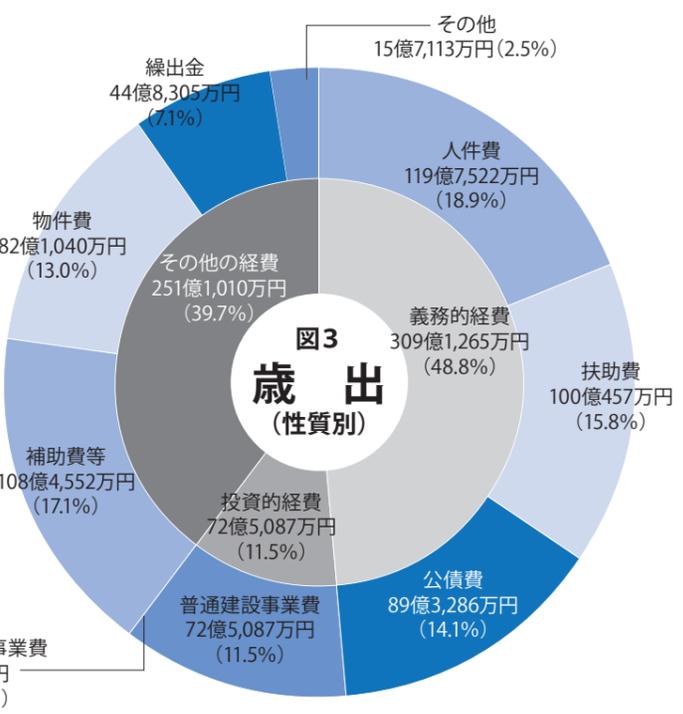
市の財政を家計に例えたら

平成28年度の市の一般会計予算を、例えば1年間の支出が500万円の家計に例えると下図のようになります。

ある家庭の1年分の支出 (500.0万円)		
①生活費 274.0万円 (食費、光熱水費等、医療費、仕送り)		
食費	94.6万円	人件費 (給与・報酬等)
光熱水費など	64.9万円	物件費 (消耗品・光熱水費など)
医療費	79.1万円	扶助費 (医療費助成など)
仕送り	35.4万円	繰出金 (特別会計へ)
家の修繕など	57.3万円	普通建設事業費
冠婚葬祭費など	85.7万円	補助費等 (他の団体へ)
借金の返済	70.6万円	公債費 (地方債返済など)
その他の経費	12.4万円	その他

ある家庭の1年分の収入 (482.2万円)

②自分たちで稼いだお金 129.6万円 (給与、パート収入、預金)		
給与	93.5万円	市税
パート収入	18.3万円	諸収入
		分担金及び負担金
		使用料及び手数料
		その他
実家や兄弟からの仕送り、援助	323.2万円	地方交付税
		県支出金
		国庫支出金
		地方譲与税・地方交付金
借金	47.2万円	市債



28年度の歳入と歳出

「予算」は1年間に入ってくるお金（歳入）と使うお金（歳出）の見積りもりのことで、予算案は市議会が審議、決定します。

歳入（図1）には、市税や使用料のほか、特定の事業に対して国や県から交付される「国・県支出金」、市町村ごとの格差を調整するために交付される「地方交付税」があります。

市税や使用料など、市が独自に収入できるものを「自主財源」、国や県の制度によって収入できるものを「依存財源」といい、安定した財政運営のためには、自主財源の確保が必要不可欠です。

また、歳出には、「目的別（図2）」と「性質別（図3）」という分類があり、「目的別経費」は、経費の目的に着目して分類したもので、子育て支援や生活保護（民生費）、道路や公園の整備（土木費）などに分類して、います。

「性質別経費」は、経費の性質に応じて分類したもので、財政運営の健全性や弾力性の分析に適します。

市債及び基金の残高見込み

28年度末の市の市債（借入金）の残高は、特別会計と公営企業の会計を合わせた全会計の合計で1381億9326万円と見込みです。

このうち、臨時財政対策債（※1）などを除き公共事業のために借入れたものが一般会計で647億3110万円となり、前年度末残高と比較して、5億7093万円の減となります。

一般会計、特別会計、公営企業会計を合わせた全会計を前年度末と比較すると、5億6096万円の減となっています。

これらを市民1人当たりで計算すると、一般会計では約52万円、全会計では約93万円になります。

また、主な市の基金（預金）の残高は、財政調整基金が18億7906万円、市債管理基金が137億6693万円になる見込みです。この2つの基金の合計を市民1人当りにすると、約13万円となります。

本年度も、市民の皆さんが納めた大切な税金を効果的かつ効率的に活用し、財政運営の健全化に努めます。

用語の解説
*1 臨時財政対策債…地方交付税の国の財源が不足する場合に、特例として地方交付税に替えて発行が認められる地方債（借入金）で、償還費用は全額国が手当するもの

予算 Act.2

将来に向けたまちづくり

平成28年度に将来に向けたまちづくりとして取り組むべき施策は次の2点です。

ILCを基軸としたまちづくり

事業	予算額	内容
ILCの早期実現に向けた取り組み	2,258万円	国際リニアコライダー調査事業、国際リニアコライダー普及啓発事業
人材育成、次世代教育	440万円	中学生最先端科学体験研修事業、英語の森キャンプ事業、中学生ILC特別授業実施事業

資源エネルギー循環型のまちづくり

事業	予算額	内容
リサイクル運動の市民運動への発展	1,485万円	資源リサイクル事業、ごみ減量化等促進対策事業など
資源・エネルギー循環型まちづくりの推進	1,966万円	資源・エネルギー循環型まちづくり推進事業、新エネルギー等導入事業費補助金、バイオマス産業化整備事業

予算 Act.3

最優先で取り組むべき施策

平成28年度に最優先で取り組むべき施策は次の3点です。

- ①まち・ひと・しごとの創生 ②東日本大震災からの復旧復興 ③「協働によるまちづくりの推進」

まち・ひと・しごとの創生～しごとづくり～【安定した雇用を創出する】

事業	予算額	内容
若者等への就職支援	3,816万円	新規卒卒者等就農促進支援事業、若者地元就業定着支援事業、中東北専門技術人材確保支援事業（*27年度補正予算と一体で実施）など
地域企業の人材育成に対する支援	3,752万円	新規高卒者ふるさと就職支援事業補助金、若者等ふるさと就職支援事業補助金（人材育成に対する補助）、人材育成事業費補助金（若手技術者育成の補助）など
企業立地の促進	3億1,813万円	生産設備等投資促進補助金、新貸し工場整備事業、工業振興計画策定事業など
起業に対する支援	1億550万円	いちのせき起業応援事業、商店街活性化事業補助金（空き店舗入居支援事業）、各種資金利子・保証料補給事業など

まち・ひと・しごとの創生～しごとづくり～【新たな人の流れをつくる】

事業	予算額	内容
移住・定住の促進	6,421万円	移住定住環境整備事業、農村地域づくり活動支援員設置事業、農村地域定住・就農促進対策事業など
広域連携による観光振興と誘客	956万円	観光地間二次交通整備事業、広域連携推進事業、一関・平泉版DMOによる地域づくり事業（※27年度補正予算と一体で実施）など
まつりや地域イベント等に対する支援と施設整備による交流人口の拡大	1億536万円	千厩新町にぎわい交流施設管理事業、釣山公園案内表示設置事業、観光振興計画策定事業など

まち・ひと・しごとの創生～子育て応援～【結婚・出産の希望をかなえる】

事業	予算額	内容
結婚・出産の支援	1億3,203万円	【医療】妊産婦医療費助成事業 【保健】妊婦健康診査事業、不妊に悩む人への一般治療支援事業、不妊に悩む人への特定治療支援事業など 【結婚】結婚活動支援事業

まち・ひと・しごとの創生～子育て応援～【安心して子育てを楽しめる環境の形成】

事業	予算額	内容
乳児期からの支援	56億9,764万円	【医療】乳幼児医療費助成事業、病院群輪番制病院運営費補助金、夜間救急医療対策事業など 【保健】小児インフルエンザワクチン接種助成事業、4種混合予防接種委託事業、乳幼児健診・成人検診託児サービス事業など 【保育】施設型給付費等支給事業、賃貸保育所改修費等支援事業費補助金、ことばの力を育てる教育推進事業など 【教育】私立幼稚園就園奨励費補助金、実費徴収補足給付事業、ことばの力を育てる教育推進事業など 【安全】一関市防犯協会連絡協議会補助金

事業	予算額	内容
小学生からの支援	5億250万円	【医療】小学生医療費助成事業 【保健】2種混合予防接種委託事業 【保育】放課後児童健全育成事業 【教育】特別支援教育推進事業、学びの活性化事業、ことばの力を育てる教育推進事業など 【安全】地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業
中学生からの支援	1億3,519万円	【医療】中学生医療費助成事業 【保健】子宮頸がん予防ワクチン接種事業、思春期保健事業など 【教育】就学援助事業、適応支援相談員配置事業、中学校文化活動補助金
高校生からの支援	1億1,424万円	【教育】奨学金貸付事業、私立高等学校生徒学費補助金
大学生・社会人からの支援	*事業費は他の施策に計上	【就職】医療介護従事者修学資金貸付事業、医療介護人材育成事業、若者地元就業定着支援事業など
子育て・教育環境の整備	14億4,916万円	東山小学校整備事業、千厩児童クラブ整備事業、一関修紅高等学校体育館整備事業費補助金など

まち・ひと・しごとの創生～地域（まち）づくり～【地域で安全に安心して暮らせる環境の整備】

事業	予算額	内容
医療・介護の人材育成と施設整備に対する支援	8億9,506万円	介護保険施設等人材育成支援事業、介護施設等整備事業費補助金、医療介護従事者修学資金貸付事業など
地域医療の確保	3,496万円	医師修学資金貸付事業、地域医療確保対策費補助金、地域医療を守る支援事業など

まち・ひと・しごとの創生～地域（まち）づくり～【生きがいを持ち健康に暮らせる環境づくり】

事業	予算額	内容
生活習慣病の発症と重症化予防	2億5,697万円	高齢者インフルエンザワクチン接種助成事業、後期高齢者健康診査事業、健康いちのせき21計画策定事業など
介護予防	5,005万円	おおむね65歳以上の高齢者を対象に、転倒予防、認知症予防、栄養改善など介護予防事業を各地区集会所等で実施
地域の見守り体制づくり	200万円	高齢者見守り事業、緊急通報体制等整備事業
高齢者の日常生活支援	3,613万円	配食・給食サービス事業、生活支援ハウス運営事業、生きがいデイサービス事業など
高齢者の社会参加に対する支援	7,521万円	高齢者福祉乗車券交付事業、高齢者自動車運転免許証自主返納サポート事業、シニア活動プラザ運営事業など

東日本大震災からの復旧復興

事業	予算額	内容
放射性物質による汚染問題への対策	3,094万円	放射線測定器の貸し出し・公共施設における放射線量モニタリング調査、被災者健康支援事業、学校給食食材等の放射性物質測定など
農林業の再生に向けた取り組み	3億4,084万円	放射性物質による被害農産物等の調査、放射性物質に汚染された農林業系廃棄物の一時保管施設の保全管理、利用自粛牧草等処理円滑化事業など
被災者の生活再建支援、近隣自治体等との連携による復旧復興の推進	4億3,684万円	東日本大震災沿岸支援費、被災者住宅再建支援事業補助金、生活再建住宅等支援事業など

「協働によるまちづくり」の推進

事業	予算額	内容
協働によるまちづくりの推進	3,253万円	藤沢町住民自治協議会による藤沢市民センターの指定管理、一関まちづくり座談会開催事業、一関市民憲章推進協議会補助金など
地域づくり活動に対する支援	2億7,525万円	地域おこし事業、地域協働体支援事業、市民活動推進事業
いちのせき元気な地域づくり事業	3,000万円	各地域で特色のある地域づくりのため、地域住民と行政との創意工夫による各種事業を実施 一関地域10事業、花泉地域6事業、大東地域8事業、千厩地域8事業、東山地域13事業、室根地域9事業、川崎地域12事業、藤沢地域5事業 計 71事業
地域協働活動の拠点整備	9,898万円	中里市民センター駐車場整備事業、田河津市民センター整備事業、藤沢市民センター調理室整備事業など

予算 Act.4 重点施策5項目

中東北の拠点都市一関の形成に向けた重点施策として、次の5項目を設定し、予算を編成しました。

- ①地域資源をみがき生かせる魅力あるまち
- ②郷土の恵みを未来へ引き継ぐ自然豊かなまち
- ③みんなが交流して地域が賑わう活力あるまち
- ④みんなが安心して暮らせる笑顔あふれるまち
- ⑤自ら輝きながら次代の担い手を応援するまち

地域資源をみがき生かせる魅力あるまち *将来に向けたまちづくりと最優先で取り組むべき施策に係る事業の再掲が含まれています

事業	予算額	内容
農業経営体の育成支援と農業基盤整備の促進	28億8,804万円	中山間地域等直接支払交付金、機構集積協力金、多面的機能支払交付金など
「地産外商」・「6次産業化」の推進と農産物の産地づくり	4,883万円	野菜花き生産振興事業補助金、繁殖牛生産振興対策事業費補助金、肥育素牛地域内保留対策事業費補助金など
優良木材の産地形成	2億1,489万円	公有林整備事業、森林総合整備事業費補助金、森林病害虫等駆除事業など
技術・経営強化、連携に対する支援	4,800万円	岩手県南技術研究センター改修費補助金、自動車・ILC関連産業促進事業（一関産業集積推進協議会負担金）など
企業立地の促進	1億1,299万円	新貸し工場整備事業、企業立地促進資金利子補給補助金など
中小企業に対する支援	2億5,215万円	一関商工会議所補助金、地域企業経営強化支援事業費補助金、各種資金利子・保証料補給事業など
商店街の活性化	2,210万円	いちのせき起業支援事業、商店街活性化事業補助金（空き店舗入居支援事業）、市街地活性化センター整備事業など
若者等への就職支援	2,110万円	若者地元就業定着支援事業、ジョブカフェ一関運営事業（若年者就業支援相談、キャリア教育支援）、中東北専門技術人材確保支援事業（*27年度補正予算と一体で実施）
地域企業の人材育成に対する支援	3,752万円	新規高卒者ふるさと就職支援事業補助金、若者等ふるさと就職支援事業補助金（人材育成に対する補助）、人材育成事業費補助金（若手技術者育成の補助）など
観光の振興	1,379万円	広域連携推進事業、食と観光PR事業、一関・平泉版DMOによる地域づくり事業（*27年度補正予算と一体で実施）

みんなが交流して地域が賑わう活力あるまち

事業	予算額	内容
幹線道路、生活道路、歩道の整備	20億1,002万円	道路新設改良事業、道路舗装新設事業、橋梁長寿命化事業など
生活交通の維持確保	275万円	一関市地域公共交通総合連携協議会負担金、デマンド型乗合タクシー試験運行費補助金
市民サービスの向上と情報セキュリティ対策の強化	908万円	住民票等コンビニ交付事業、情報セキュリティ強靱化事業（*27年度補正予算と一体で実施）
移住・定住の促進	6,377万円	移住定住環境整備事業、定住自立圏推進事業、結婚活動支援事業

自ら輝きながら次代の担い手を応援するまち

事業	予算額	内容
子どもを安心して生み育てられる環境づくり（医療）	4億1,148万円	乳幼児・小学生・中学生・妊産婦医療費助成事業、病院群輪番制病院運営費補助金、夜間救急医療対策事業など
子どもを安心して生み育てられる環境づくり（保健）	3億4,131万円	乳幼児健診・成人検診託児サービス事業、不妊に悩む人の一般治療支援事業、不妊に悩む人への特定治療支援事業など
子どもを安心して生み育てられる環境づくり（保育）	52億513万円	施設型給付費等支給事業、賃貸保育所改修費等支援事業費補助金、ことばの力を育てる教育推進事業など
子どもを安心して生み育てられる環境づくり（教育）	13億1,777万円	実費徴収補給給付事業、ことばの力を育てる教育推進事業、東山小学校整備事業など

事業	予算額	内容
文化芸術・スポーツの振興	4億3,451万円	一関市総合体育館西駐車場整備事業、東山総合体育館改修事業、東山和紙後継者育成支援事業など
希望郷いわて国体・希望郷いわて大会の開催	2億9,538万円	バレーボール競技 10月2日から5日まで（東山総合体育館、千厩体育館、花泉体育館） フェンシング競技 10月2日から5日まで（一関市総合体育館） バスケットボール競技 10月7日から10日まで（一関市総合体育館、東山総合体育館） デモンストレーションスポーツ競技（スポーツ吹矢、バウンドテニス） 9月25日（一関市総合体育館） 全国障害者スポーツ大会 バスケットボール競技（知）、車椅子バスケットボール競技（身） 10月22日から24日まで（一関市総合体育館）
「地域の宝」を守り、顕彰する取り組み	1億9,167万円	世界農業遺産認定推進協議会負担金、民俗資料等公開施設整備事業、「一関の文化財」改訂版発刊事業など

郷土の恵みを未来へ引き継ぐ自然豊かなまち

事業	予算額	内容
低炭素社会の実現に向けた取り組み	9,216万円	防犯灯維持管理事業、商店街低炭素街路灯導入事業補助金、新エネルギー等導入事業費補助金
空家の適正管理、利活用対策の推進	350万円	空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく、空家の適正管理、利活用などの対策を推進
公園の整備と景観形成	1,300万円	赤荻地区公園整備事業、公園遊具の更新事業、本寺地区景観形成事業補助金
住み良い生活環境の整備	2億4,963万円	飲用井戸等整備事業補助金、浄化槽設置整備事業補助金

みんなが安心して暮らせる笑顔あふれるまち

事業	予算額	内容
地域医療の確保	3,496万円	医師修学資金貸付事業、地域医療確保対策費補助金、地域医療を守る支援事業など
医療・介護の人材育成と施設整備に対する支援	8億9,506万円	介護保険施設等人材育成支援事業、介護施設等整備事業費補助金、医療介護従事者修学資金貸付事業など
在宅介護に対する支援	5,510万円	在宅寝たきり高齢者等介護手当支給事業、家族介護支援事業など
発達支援と障がい者福祉の充実	27億2,952万円	自立支援介護給付費、障害者地域生活支援事業、障害者福祉乗車券交付事業など
防災のまちづくりの推進	1億3,480万円	自主防災組織活動助成金、自主防災組織育成事業、命をつなぐプロジェクト事業など
暮らしの安全・安心対策	5,752万円	消費者保護事業、生活困窮者自立支援事業、土砂災害ハザードマップ作成事業など
防災拠点施設の整備と災害発生時の対応強化	2億2,569万円	非常備消防ポンプ自動車・小型動力ポンプ積載車等購入事業、水難救助用被服整備事業、栗駒山火山防災ハザードマップ作成等負担金など

●経済対策事業

地域経済の活性化、雇用の確保・創出を図るため、後年度計画事業の前倒し、市民要望の多い生活道路の整備や修繕、公共施設の修繕や環境整備などを中心に、平成27年度と同規模の経済対策事業を実施します。
【事業費計 35億6,684万円】（当初予算分前年比 △1億5,245万円 △4.1%）

勝部市長の

お仕事百景

シリーズで勝部市長の仕事を紹介しつづけます



2/28 厳美市民センター 達古袋分館落成記念式典

厳美市民センター達古袋分館の改修工事が終わり、落成記念式典が行われました。3年前に閉校になった達古袋小。「達古袋ふるさとを考える会」の皆さんが話し合い、地元の要望を反映させて改修したものです。同校の特徴である119メートルの直線廊下は、そのまま維持しました。



3/2 一関第二高校卒業式

一関二高の卒業式に出席しました。校歌斉唱の前に全員で「第九(歓喜の歌)」を合唱。これには驚きました。祝辞では、宮沢賢治の「雨ニモマケズ」を引用し、自分の足で踏み出し、現場で考えることの大切さを話しました。二高の皆さんには、さまざま行事に参加、協力していただきました。



高齢者福祉乗車券 障がい者福祉乗車券

28年度の乗車券を交付

市は、市内在住の70歳以上の人と重度の障がいがある人に、市内のバスやタクシーを利用できる乗車券(金券)を交付します。

乗車券は10円券と100円券の2種類で、月額1000円分(年1万2千円分)を上限に申請月分から交付します。ただし、入院中や施設入所中の人は申請できません。

4月1日(金)から申請できます。希望する人は、本庁長寿社会課、福祉課または各支所保健福祉課で申請してください。

●**高齢者福祉乗車券**について
本庁長寿社会課 ☎ 8370 または各支所保健福祉課/障がい者福祉乗車券について本庁福祉課 ☎ 8355 または各支所保健福祉課

福祉乗車券の内容

区分	高齢者福祉乗車券	障がい者福祉乗車券
対象	市民税非課税世帯のうち次のいずれかに該当する人 ①70歳以上の一人暮らし ②70歳以上だけの世帯 ③障がい者福祉乗車券の対象者だけと同居する70歳以上の人 *年度内に70歳の誕生日を迎える人は誕生日から申請できます	①身体障害者手帳1・2級の人 ②療育手帳Aの人 ③重度の精神障がいの人(精神障害者保健福祉手帳1級の人、障害年金1級の人) *自動車税、軽自動車税免除者は非該当
手続き	● 窓口申請 ▶保険証など本人確認ができるものと印鑑を持参して▶本庁長寿社会課または各支所保健福祉課の窓口で▶申請書に記入・押印▶市が内容を確認後、窓口で交付	● 窓口申請 ▶印鑑と手帳等を持参して▶本庁福祉課または各支所保健福祉課の窓口で▶申請書に記入・押印▶市が内容を確認後、窓口で交付
利用できる交通機関	● バス …岩手県交通、なの花バス、東磐交通、市営バス(花泉・大東・千厩・室根・川崎) ● タクシー …アイタクシー、一関平泉タクシー、一関中央交通、なのはな観光タクシー、県南タクシー、花泉タクシー、大原タクシー、摺沢タクシー、磐井タクシー、千厩タクシー、西宗タクシー、東磐タクシー、長坂タクシー、室根タクシー、川崎タクシー、郡南タクシー、藤沢タクシー ● 福祉輸送事業限定タクシー …福光園クちゃん移送サービス、福祉タクシー一関、介護タクシーすずき、(株)K&Tウェルサポートフェニックス東北、花泉ケアタクシー、ケアタクシー千田、ケアタクシー菅原	
使用の注意	①利用は対象者本人に限られます②28年度分の利用期限は29年3月31日までです③紛失・破損・汚損などによる再交付はしません④支給要件に該当しなくなった場合は、すみやかに返還してください	
問い合わせ先	本庁長寿社会課 ☎ 8370 または各支所保健福祉課	本庁福祉課 ☎ 8355 または各支所保健福祉課

空間放射線量の推移 *マイクローベルト/時

測定場所	2011年6月	2016年2月	減衰割合
本庁	0.17	0.06	0.35
花泉支所	0.24	0.05	0.21
大東支所	0.19	0.06	0.32
千厩支所	0.24	0.08	0.33
東山支所	0.24	0.07	0.29
室根支所	0.34	0.07	0.21
川崎支所	0.25	0.06	0.24
藤沢支所	0.22	0.06	0.27

【参考】岩手県生活空間測定マップ

Q. 市内の空間放射線量の状況は？

A. 市内の空間放射線量は▶一関西・東消防署で毎日▶各地域の小中学校、保育園、公園などから選定した9カ所で週1回▶各市民センターで毎月1回一のほか、各種測定を定期的に行っています。岩手県でも、県内10カ所のモニタリングポストや各市町村の施設で空間放射線量を測定しています。測定結果を見ると生活空間の空間放射線量は低下傾向にあり、健康に影響を及ぼさないレベルになっています。

放射線に関する

Q&A

●本庁放射線対策室 ☎ 8331

INFORMATION

南消防署藤沢分署の落成式を開きます

●市消防本部総務課 ☎ 25910
2月から運用を開始している同分署の落成式を開催します。アトラクションとして黄海二日町祭神太鼓を披露するほか、13:00～15:00には庁舎を一般公開します。
◇日時…4月10日(日) 10:30～11:30
◇場所…一関南消防署藤沢分署 (旧藤沢町)

65～74歳で障がいがある人は後期高齢者医療制度に加入できます

●本庁国保年金課 ☎ 8343 または各支所市民課
65～74歳の人で下記に該当する人は、障害認定申請をすれば、後期高齢者医療制度に加入できます。加入した場合、医療機関などの窓口で支払う一部負担金の割合が1割(課税所得が3割)になります。また、これまで保険料を支払っていない人も納付が必要になります。保険料額は、被保険者の所得で算定します。
*軽減判定する場合は、世帯所得で算定します
◇対象…65～74歳で①国民年金法等障害年金1、2級②身体障害者手帳1級～3級、4級の一部(下肢障害(1・3・4級)、言語障害)③精神障害者保健福祉手帳1、2級④療育手帳の障がいの程度(総合判定)が「A」判定一のいずれかに該当する人

精神障がい者のバス運賃割引を開始

●本庁福祉課 ☎ 8355
4月1日から下記のバスで精神障害者保健福祉手帳を持っている人のバス運賃を割引します。本人の普通運賃が半額になります。運賃支払時に、手帳を乗務員に提示してください。手帳に写真がない場合は、割引できません。
◇対象…岩手県交通(株)、岩手県北自動車(株)、ジェイアールバス東北(株)の岩手県内の一般路線バス *高速バスは対象外です

公共下水道整備が完了しました

●本庁下水道課 ☎ 8584 または各支所建設水道課
整備区域内に建物を所有している人は、市が指定する排水設備指定工事店に依頼し、排水設備工事を行ってください。
◇整備区域…【一関地域】字樋渡/五代町/山目字境、館、沢内、才天、立沢/赤荻字下谷地/中里字神明、荒谷、在家、雲南、南白幡、新川原/萩荘字大清水、金ヶ崎、高梨南方、釜ヶ淵、高梨東、高梨北方、下モ下釜、畑下、竹際、川崎、下中田、砂子田、袋田一の各一部【花泉地域】涌津字上三ノ町、二ノ町/花泉字上館、地平、東鹿野、町一の各一部【千厩地域】千厩字北方、久保田一の各一部

市内の自己所有の固定資産の内容や評価額が適正かを確認する制度です。
◇期間…4月1日(金)～5月2日(日)8時30分～17時15分 *土曜(祭)を除く
◇場所…市役所本庁事務課 または各支所市民課
◇確認できる事項…【土地】所在地、地番、地目、地積、価格(評価額)【建物】所在地、家屋番号、種類、構造、床面積、価格(評価額)
◇対象…土地、家屋の納税者または代理人(委任状)
*土地(家屋)だけ所有する人は土地(家屋)だけ縦覧可。固定資産税が課税されていない人は縦覧不可
◇閲覧…本人所有の資産は随時確認できます。納税義務者・代理人(委任状)が閲覧でき、本人確認できる書類(の代理の縦覧は代理人)が必要。手数料は1件300円 *縦覧期間中は無料
◇借地・借家人の閲覧…借地・借家人は、関連資産の閲覧・証明申請ができます。申請は、貸借契約書などの書類と本人確認できる書類が必要。手数料は1件300円
◇審査の申し出…資産の価格に不服がある場合、納税通知書を受け取った翌日から3カ月以内に審査の申し出ができます
●本庁事務課 ☎ 8257 または各支所市民課

浄化槽設置などの補助事業を活用してください

市は、し尿と生活雑排水を同時に処理できる合併処理浄化槽の普及を進めています。28年度から整備手法を個人設置型で統一するため、今までの設置補助に加えて各種支援策を実施します。
詳しくは、市ホームページで確認するか、本庁下水道課または各支所建設水道課へ問い合わせてください。
◇対象…下水道事業計画区域と農業集落排水事業区域を除いた区域
◇種類・内容…①浄化槽設置整備事業補助金・浄化槽の設置を希望する人に標準工事費の約6割を補助(定額)②浄化槽放流管設置費補助金・浄化槽放流管の設置を希望する人で放流管の延長30メートル以上100メートル未満が対象。設置費の4分の3までを補助(上限1万円あたり3000円)③浄化槽修繕費補助金・浄化槽を設置後3～30年の人に、修繕費(浄化槽本体だけ)の2分の1までを補助(上限10万円)④排水設備融資あっせんおよび利子補給補助金・排水設備にかかると、借入限度額100万円の5年償還融資のあっせん、年利4%以内の利子を補助
●本庁下水道課 ☎ 8584 または各支所建設水道課

市教育振興基本計画(28年度～37年度)を策定しました

同計画は、今後10年間の教育目標を定め、目標実現に向けた施策を総合的・体系的に示したものです。市教育委員会では、計画に沿って市民の参画を得ながら着実に教育振興を進めていきます。同計画の冊子は、本庁教育総務課、各支所地域振興課、各図書館、博物館、各市民センターに配置したほか、市ホームページに掲載しています。詳しくは問い合わせください。
●基本目標…学びの風土を礎に 心豊かにたくましく 郷土の誇りを未来につなぐ 一関の人づくり
●基本方向…社会を生き抜く力を育む学校教育の充実/ともに学び、まちとひとをつくる社会教育の推進/誇りと愛着を醸成する文化の継承
●市教育委員会教育総務課 ☎ 8823

**第31回一関民俗芸能祭
女兒が南部神楽に初挑戦、会場から喝采**

市内の郷土芸能が一堂に会する「第31回一関民俗芸能祭」は3月13日、一関文化センター大ホールで開かれ、訪れた400人あまりの観客が神楽などの演舞に拍手を送りました。

当日は、13団体が出演。神楽、鹿子躍、田植え踊り、太鼓を各団体が熱演しました。

このうち真柴の牧沢神楽では阿部陽向ちゃん（滝沢小2年）と石川絢音ちゃん（4つ）が神楽に初挑戦。2人の堂々とした舞いとせりふに、会場から大きな拍手が送られていました。陽向ちゃんは「練習したとおりに踊れた」、絢音ちゃんは「今度は別の役もしてみたい」と話していました。



**千厩地域市民劇場で第13回どっから座公演
固い親子の絆が観客の心を揺さぶる**

第13回どっから座公演「仏坂の孝行息子善八の物語」（同実行委員会主催）は3月13日、千厩農村環境改善センターで開かれました。舞台は、江戸時代に千厩町磐清水の仏坂地区に実在した善八を描いた創作劇。年老いた父と病弱な母を支える善八は、物語終盤に両親を失います。しかし、その誠実さが認められ、新たな幸せをつかみました。

出演者、スタッフ総勢70人が一丸となって作り上げたステージに惜しみない拍手が送られ、千厩町小梨の千田たき子さん（80）は「互いを思う親子の姿に胸がいっぱいになった。若い人たちにこそ観てもらいたい物語だった」と感激していました。



**無病息災の願い込め、藤沢町長徳寺で蘇民祭
男衆の熱気みなぎる袋ねじり**

長徳寺（藤沢町保呂羽・渋谷真之住職）の蘇民祭は3月6日に行われ、見物客が見守る中、下帯姿の男たちが蘇民袋を奪い合って無病息災などを願いました。

近くの雉子川で頭から水をかぶる水垢離を終えた男衆は、燃え盛る井桁状に積まれた焚場に次々と上り「ジャッソー、ジョヤサー」と氣勢を上げました。2012年に半世紀ぶりに完全復活した蘇民袋争奪戦（袋ねじり）。今年は、市内外から50人が参加し、男衆が激しい肉弾戦を展開しました。復活後、初の取り主になった畠山克宏さん（47）は「念願がかなった。地元で愛される祭りとして続けていきたい」と話していました。



**木枠の中に広がる自由な世界
伝統工芸「東山和紙」の紙すきを体験**

「東山和紙の紙すき体験」（市主催）は3月12～28日、東山町長坂の（有）東山和紙の店「紙すき館」で行われました。同体験は、市内に住む小学生以上の住民を対象に行われ、和紙作りを楽しみ、伝統工芸への関心を高めよう企画されました。

この体験は、同館が観光客向けに行っているものと同じ内容。紙すき職人で同社代表取締役の鈴木信彦さんが指導しました。初日に訪れた同町田河津の高橋空さん（東山小2年）は、祖母の利江さんと一緒に紙すきに挑戦。「菜の花と梅をイメージしました」と出来栄に満足の表情を見せました。

**伝統行事「一歳児歩き初め会」に県内外から145組参加
一升の餅背負い、一生の幸せ願う**

「第15回一歳児歩き初め会」は3月5日、巖美町の「道の駅巖美溪」で開かれ、一升の餅を背負った1歳児が、家族の温かい声援を受けながら一生懸命歩きました。

同イベントは、一生分の苦勞に見立てた一升の餅を背負って歩き、子供の健やかな成長と幸せを願う伝統行事。法被に鉢巻き姿の1歳児が餅を背負い、保護者に支えられながら約5メートルを往復しました。

狐禅寺の橋本亜紀さん（31）は「上の子も参加した行事。つたえ歩きですが、なんとか歩いてくれた。いい記念になりました」と息子の篤哉くん（1）に優しいまなざしを向けました。



**本寺地域に人と春呼び込む「ほんでら春フェスタ」
さまざまなジャンルの楽しみ一挙に集結**

「ほんでら春フェスタ」は3月6日、骨寺村荘園交流施設で行われ、市内外から訪れた約350人がライブステージ、ハンドクラフト展やエクササイズなどを思い思いに楽しみました。

今年で2回目の同フェスタは、同施設の休憩所を追加会場として実施。参加者は、交流館でヨガなどのエクササイズ、休憩所ではハンドクラフト展や人気のカフェを楽しみました。風のシアターで行われたライブステージには、フラダンス、ロックやジャズなど多彩なジャンルの7組が出演。このうち、山目小学校スクールバンドは大人顔負けの演奏を披露し、来場者を魅了していました。



**18歳以上に選挙権が与えられる参院選に向けて
花泉高で本番さながらの模擬投票**

「一関市あかるい選挙啓発授業」は2月26日、花泉高校の多目的ホールで行われ、同校3年生39人が模擬投票に臨みました。同授業は、今夏の参院選から選挙権年齢が18歳以上に引き下げられることを受け、選挙や政治への関心を高めるために同校と市選挙管理委員会が実施。生徒らは、選挙の歴史や投票方法などについて講義を受けたあと、架空の立候補者へ投票。実物の記載台や投票箱を設置し、本番さながらの投票が行われました。

熊谷紗奈さんは「投票方法は思っていたよりも簡単でした。公約をよく見て候補者を選びたい」と話していました。



**市民が作る感動の舞台「一関藤沢市民劇場」
中米で活躍した写真家の半生を上演**

第17回一関藤沢市民劇場「屋須弘平物語『さくら』」（同実行委員会主催）は2月28日、縄文ホールで開かれ、約300人が迫真の演技に見入っていました。

「さくら」は中米グアテマラで活躍した同町出身の写真家・屋須弘平の波乱の人生を描いた物語。キャスト24人が屋須と彼を支えた人々を熱演しました。カーテンコールでは、キャストが揃って登場。会場からの大きな拍手に笑顔が浮かべました。

藤沢町砂子田の佐藤作子さん（80）は「出演者のいきいきとした表情が素晴らしかった。毎回楽しみにしています」と話していました。

4月の乳幼児の健康診査

*該当月に受けられない場合は子育て支援課または各支所保健福祉課へ連絡してください

地域	内容	対象	日	受付時間	場所
一関 花泉	3～4カ月児健診	27年12月1日～17日生まれ	27㊟	12:45～13:00	一関保健センター
		27年12月18日～31日生まれ	28㊟		
	9～10カ月児相談	27年6月1日～15日生まれ	27㊟	8:45～9:00	
		27年6月16日～30日生まれ	28㊟		
	1歳6カ月児健診	26年9月1日～19日生まれ	21㊟	12:45～13:00	
		26年9月20日～30日生まれ	22㊟		
	2歳6カ月児歯科健診	25年10月1日～13日生まれ	21㊟	8:45～9:00	
		25年10月14日～31日生まれ	22㊟		
	3歳児健診	24年10月1日～15日生まれ	14㊟	12:45～13:00	
		24年10月16日～31日生まれ	15㊟		
大東 千厩 東山 室根 川崎 藤沢	3～4カ月児健診	27年12月生まれ	26㊟	12:45～13:00	川崎防災センター
	9～10カ月児相談	27年6月生まれ	19㊟	9:00～9:15	千厩保健センター
	1歳6カ月児健診	26年9月生まれ	21㊟	12:45～13:00	
	2歳6カ月児歯科健診	25年10月生まれ	19㊟		
	3歳児健診	24年10月生まれ	20㊟		

*きょうだいなどの同伴でお手伝いが必要な人は託児スタッフが対応します。健診日の2週間前まで申し込んでください

☎子育て支援課（一関保健センター内）または各支所保健福祉課

information

ふれあいひろば

☎一関子育て支援センター ☎4170
就学前の子供と保護者が、自由に遊んで交流を深めます。保育士・専門スタッフが子育ての相談にも応じます。
◇日時…月～㊟ 9:30～15:30、㊟・第1㊟・第3㊟ 13:30～15:30 (㊟を除く)
◇場所…一関保健センター

アルコール家族教室

☎健康づくり課（一関保健センター内）
◇日時…4月5日㊟14:00～16:00
◇場所…県立南光病院
◇内容…講話・話し合いなど
◇申し込み…事前に電話で

フリースペースひだまり

☎健康づくり課（一関保健センター内）
ひきこもりについて同じ思いを抱える人と話して気持ちを軽くしてみませんか。
◇日時…4月18日㊟13:30～16:00
◇場所…一関勤労青少年ホーム
◇内容…ひきこもりの人やその家族の懇談や相談など

傾聴サロン（語らいの場）

☎健康づくり課（一関保健センター内）
一人で悩まず相談してみませんか。
◇日時…4月19日㊟10:00～11:30
◇場所…一関保健センター
◇内容…傾聴ボランティア会員による傾聴

医療と介護の窓
～みんなで守ろう地域医療～

文・岩手県看護協会立千厩訪問看護ステーション所長 藤野みどり

皮膚の乾燥対策について

■皮膚の乾燥対策

皮膚は、体を保護し、体温や水分の調節、感覚器など重要な役割を果たしています。皮膚炎や床ずれなどで皮膚が損傷しさまざまな病気を引き起こすことがあります。

私たちが訪問している先でも「背中や腰をかゆがって、かきすぎて出血した」とか「何か良く効くかゆみ止めはないか」という相談をよく受けます。

現在は、だいぶ暖かくなり、皮脂の分泌も活発化してくる頃ですが、寒さで代謝が落ち、空気が乾燥する冬には、特に症状が強くなります。かゆみは、皮膚の乾燥が主な原因ですので在宅生活を快適に過ごすためにも乾燥対策をしましょう。

■洗うときのポイント

①ナイロンタオルなどの刺激の強いタオルは使用を避けましょう。こす

ったときは気持ちがいいですが、傷んだ皮膚がめくれて症状がひどくなることがあります。②石けんやボディソープは泡立てて手のひらで優しく洗いましょう。③石けん成分はよく洗い流しましょう。④水分はタオルで押さえるように拭きましょう。⑤水分を拭きとった後は出来るだけ早く（できれば5分以内に）保湿ローションや軟膏などを塗りましょう。⑥爪は短く切りましょう。手袋をする方法もあります。

■予防や早期治療が大切

予防には市販の保湿ローションで充分ですが、症状がひどいときは早めに皮膚科を受診し症状に合った軟膏を処方してもらいましょう。皮膚の病気も予防や早期治療が大切です。

☎健康づくり課（一関保健センター内）

1

涌津スポーツ少年団・川崎エンジェルス

ソフトボール王国の意地をかけ春季全国へ

花泉町の涌津スポーツ少年団（部員9人）と川崎町の川崎エンジェルス（部員17人）の両チームは、3月26日から熊本県で行われる「第9回春季全日本小学生女子ソフトボール大会」に県代表として出場します。昨年、秋に行われた県新人大会で涌津が優勝、川崎が準優勝。両チーム共

に出場権を獲得しました。涌津の千葉美春主将（涌津小5年）は「守備練習に力を入れています。失点しないで、まずは1勝したい」と力を込め、千葉祐哉監督は「体調管理を万全にして初戦に勝ち、波に乗りたい」と大会を見据えます。川崎の菅原杏珠主将（川崎小5年）は

「明るくて元気のいいチーム。守って、チャンスで確実に得点したい」と活躍を誓い、菅原史朗監督は「全国は大舞台。選手が普段の力を出し切れるように心配したい」と気を引き締めていました。同大会は、全国から42チームが参加し、日本一を争います。涌津は3年連続4回目、川崎は初出場です。



力戦奮闘 球春到来

雪解けとともに、うれしいニュースが一関に春を告げた。この冬も市内の児童・生徒らが県王座の地位を狙い、各地で熱戦を繰り広げた。「力戦奮闘」全てを出し尽くした4チーム。全国大会への切符をつかんだ王者の姿を追った。

2

一関一高ソフトボール部

県代表として2年連続全国に出場

一関一高ソフトボール部（部員16人）は3月19日、千葉県で開かれる「第34回全国高校女子ソフトボール選抜大会」に県代表として出場します。2年連続3度目。

同部は、県新人戦で優勝、6県の代表12校が出場した東北大会で初優勝と勢いに乗っています。今野葵主将（2年）は「目標は3勝。ベスト8入りを果たしたい」と決意。千葉律子監督は「打撃で先行し、落ち着いたプレーでゲームを制したい」と話し、選手の技と心の成長に期待していました。



3

花泉中野球部

全国中学生軟式野球大会に出場

花泉中野球部（部員27人）は3月19、20の両日に千葉県で開かれる「第17回全国中学生軟式野球大会」に県代表として出場します。

昨年11月に開かれた県予選会で3位に入賞。準決勝で戦った湯口中が全国出場を辞退したため、主催者の推薦で出場権を獲得しました。大会で主将を務める大村駿平君（2年）は「目標は優勝。接戦になると思うが、集中して守りたい」と、兼平昂監督は「走攻守そろったバランスのいいチーム。収穫のある試合にしたい」と照準を合わせていました。



*取材日は3月10～15日まで

日 Sun

月 Mon

火 Tue

水 Wed

木 Thu

金 Fri

土 Sat

4

April 2016
Ichinoseki City
Health Calendar

いちのせき けんこう カレンダー

医療機関を受診する皆さんへ

- ・診療時間内を受診しましょう
- ・かかりつけ医をもちましょう
- ・休日や夜間の受診は当番医を利用しましょう



3 + 休日 西 [内科] 袋医院 (花泉) ☎82-3316 東 [外科] 菅原整形外科クリニック (銅谷町) ☎23-0501 東 奥玉診療所 (奥玉) ☎56-2751	4 + 夜間 西 中野内科循環器科クリニック (山目) ☎33-2311 東 室根診療所 (折壁) ☎64-2127	5 + 夜間 西 さとう小児科医院 (桜木町) ☎23-4020 東 谷藤内科医院 (千蔵) ☎51-3355	6 + 夜間 西 氷室内科医院 (青葉) ☎23-3185 東 かわさきファミリークリニック (薄衣) ☎43-3770
10 + 休日 西 [内科] かとうこどもクリニック (山目) ☎33-2211 東 [外科] 岩手クリニック一関 (旭町) ☎21-5111 東 吉田内科循環器科医院 (大原) ☎71-2131	11 + 夜間 西 阿部内科クリニック (竹山町) ☎23-2918 東 菅野内科医院 (摺沢) ☎75-2772	12 + 夜間 西 ひらいずみ内科クリニック (平泉) ☎34-1133 東 県立大東病院 (大原) ☎72-2121	13 + 夜間 西 菅原内科循環器科医院 (浦津) ☎82-5528 東 かわさきファミリークリニック (薄衣) ☎43-3770
17 + 休日 西 [内科] いたう脳神経内科 (上坊) ☎21-8200 東 [外科] 岡崎整形外科 (三関) ☎23-7000 東 遠藤医院 (千蔵) ☎53-2126	18 + 夜間 西 小野寺内科循環器科 (末広) ☎23-5600 東 たかがね内科泌尿器科クリニック (千蔵) ☎51-1377	19 + 夜間 西 かとうこどもクリニック (山目) ☎33-2211 東 猿沢診療所 (猿沢) ☎76-2020	20 + 夜間 西 佐藤胃腸科内科医院 (山目町) ☎23-9678 東 かわさきファミリークリニック (薄衣) ☎43-3770
24 + 休日 西 [内科] 阿部医院 (巖美町) ☎29-2020 東 [外科] 一関病院 (大手町) ☎23-2050 東 阿部医院 (長坂) ☎47-3898	25 + 夜間 西 寺崎内科胃腸科医院 (青葉) ☎23-6211 東 菊池内科医院 (沖田) ☎74-2512	26 + 夜間 西 袋医院 (花泉) ☎82-3316 東 県立大東病院 (大原) ☎72-2121	27 + 夜間 西 さとう小児科医院 (桜木町) ☎23-4020 東 かわさきファミリークリニック (薄衣) ☎43-3770

7 + 夜間 西 袋医院 (花泉) ☎82-3316 東 県立千蔵病院 (千蔵) ☎53-2101	8 + 夜間 西 誠信堂医院・小児科 (浦津) ☎82-3434 東 吉田内科循環器科医院 (大原) ☎71-2131
14 + 夜間 西 一関中央クリニック (中央町) ☎21-1222 東 県立千蔵病院 (千蔵) ☎53-2101	15 + 夜間 西 いたう脳神経内科 (上坊) ☎21-8200 東 阿部医院 (長坂) ☎47-3898
21 + 夜間 西 桂島医院 (駅前) ☎21-8883 東 県立千蔵病院 (千蔵) ☎53-2101	22 + 夜間 西 木村消化器内科 (三関) ☎21-1311 東 千蔵ひかりクリニック (千蔵) ☎51-1156
28 + 夜間 西 千葉内科医院 (山目) ☎25-3211 東 県立千蔵病院 (千蔵) ☎53-2101	29 + 休日 西 [内科] 寺崎内科胃腸科医院 (青葉) ☎23-6211 東 [外科] 佐藤外科肛門科医院 (山目) ☎26-5125 東 もりあい内科クリニック (千蔵) ☎51-3322

+ 夜間 夜間救急当番医
●診療時間…18:00~20:00

+ 休日 休日当番医
●診療時間…9:00~17:00

①当番医は変更になることがあります。電話で確認してから受診してください

②保険証とお薬手帳を持参し、受診してください

夜間こども 救急相談電話

子供の病気への対応や応急措置などを看護師に相談できる窓口です。年中無休で応じます。

●受け付け…19:00~23:00

☎☎019・605・9000

または☎#8000

登米市・栗原市の休日当番医 *登米市(市外局番0220)、栗原市(市外局番0228)の当番医は、医療機関により一部診療時間が異なります *おおともクリニックの市外局番は0225

日	医療機関	日	医療機関	日	医療機関	日	医療機関
3	[登米] 登米市立米谷病院 (東和町米谷) ☎42-2007	10	[栗原] 熊坂医院 (一迫川口) ☎54-2311	17	[栗原] くらさわ整形外科 (一迫真坂) ☎52-2627	24	[登米] 佐幸医院 (迫町佐沼) ☎22-7003
③	[栗原] 栗原市立瀬峰診療所 (瀬峰長者原) ☎38-3121	③	[栗原] 日野外科内科 (築館薬師) ☎22-2005	③	[登米] 三浦消化器内科 (中田町石森) ☎34-3611	③	[栗原] 石橋病院 (若柳) ☎32-2583
	[栗原] くりこまクリニック (栗駒岩ヶ崎) ☎45-2128		[登米] 新田診療所 (迫町新田) ☎28-3398		[栗原] 達内科 (築館薬師) ☎22-2655		[栗原] ほそや小児科 (栗駒岩ヶ崎) ☎45-5660
10	[登米] 大坂医院 (中田町石森) ☎34-6625	③	[栗原] たまかけ医院 (一迫真坂) ☎52-5115		[栗原] 若柳消化器内科 (若柳字川北) ☎32-2316		

気仙沼市の休日当番医 *気仙沼市(市外局番0226)の当番医は、医療機関により一部診療時間が異なります

日	医療機関	日	医療機関	日	医療機関
	葛内科胃腸科医院 (田中前) ☎22-6750	10	大友病院 (三日町) ☎22-6868	24	村岡外科クリニック (田中前) ☎23-3990
3	遠藤産婦人科医院 (本郷) ☎22-6828	③	佐藤徹内科クリニック (南三陸町志津川) ☎47-1175	29	齋藤外科クリニック (東新城) ☎22-7260
③	小野医院 (唐桑宿浦) ☎32-3128		気仙沼市立本吉病院 (本吉町津谷) ☎42-2621		

2016 希望郷 いわて国体・いわて大会通信

Ichinoseki city Hall

April 2016



両大会を盛り上げる 手作り応援のぼり旗を制作

March 2016



歓迎おもてなし

クリーンアップ運動に協力を

10月に開かれる両大会で当市を訪れる選手や観客を、きれいなまちで歓迎するため「歓迎おもてなしクリーンアップ運動」を実施します。活動に協力できる企業や団体に、のぼり旗を貸し出します。詳しくは国体推進室に問い合わせください。多くの市民、企業・団体などの協力を得て、市民総参加の活動として取り組みます。協力をお願いします。

クリーンアップ実施期間

- 春の一斉清掃
4月1日(金)～30日(土)
- 秋の一斉清掃
9月24日(土)～30日(金)



グッジョブクラブと PR 活動協定を締結

市実行委員会は特定非営利活動法人グッジョブクラブ(萩田進理事長)と両大会のPR活動に関する協定を締結しました。グッジョブクラブは市内で活動する総合型スポーツクラブ。チラシの配布やのぼり旗の掲出などにより、同団体が主催する大会、教室や地域貢献活動で両大会をPRします。



●本庁国体推進室(合同庁舎内) ☎③4850

国体で訪れる選手を応援するため、メッセージや各県の名産品やご当地キャラクターなどが描かれたのぼり旗の制作を市内小中学校に依頼し、3月18日に完成しました。

それぞれの学校で、児童や生徒が一生懸命に旗を制作。個性あふ



れる力作がそろいました。制作に取り組んだ磐井中美術部の佐々木星乃花部長(2年)は「選手が頑張ってくれるように、元気でかわいいイメージで作りました。大会の会場に飾られると思うと、少し恥ずかしい。全国から訪れる選手の活躍を見に行きたい」と照れながら話してくれました。

のぼり旗は国体開催期間中、市内の各競技会場に掲げます。熱戦とともに、児童や生徒の力作もぜひ楽しんでください。

のぼり旗を制作する⑥赤荻小の児童と⑦磐井中の生徒。おもっつも応援



ファンタジックコンサート8で ドリームキッズがわんこダンスを披露

28 February 2016

「ファンタジックコンサート8」は2月28日、大東町の室蓬ホールで開かれ、約300人の観客の前でドリームキッズがわんこダンスを



披露しました。ドリームキッズは、2歳～小学6年の22人で構成される歌って踊れる音楽グループ。当日は観客のアンコールに答え、プロサックスグループ・サクソフォビア、アマチュアバンド・スプライトの生演奏で元気いっぱいダンスを踊りました。おもっつも一緒に会場を盛り上げ、国体をPRしました。



元気のひみつ Voice

Kumagai Takako

熊谷孝子さん

花泉町日形 61歳

子供たちに地域の良さ伝えたい

1984年に創設された「日形太鼓」は、地域の伝統芸能。わたしも30～40代の頃に、盛んに太鼓の音を響かせました。

ですが、後継者不足で2005年から活動を一時休止。15年3月に日形小が閉校することを知り「子供たちに地域が誇るものを見せたいね」と、当時の奏者たちが集まって活動を再開しました。

10年のブランクは大きくて、思い出すのに四苦八苦しました。閉校式の演奏後、たくさんの人に「良かったよ」と励まされました。今は、少数精鋭で老人ホームなどの慰問をしています。

他にも体を動かしたり、花を育てたり、イルミネーションを飾ったり。

好きなことが生活の中心にあると、穏やかに毎日を過ごせます。

●両親学級(こはら)

◇日時・内容: ①5月10日(火)9時30分～13時・保健師・栄養士の講話、調理実習など ②5月28日(土)9時30分～11時50分・助産師講話、もくろみ実習など◇場所: 一関保健センター◇対象: 市内在住の妊婦とその家族◇定員・費用: 先着12組・300円(①だけ)◇申し込み: 4月28日(土)

●子育て支援課(一関保健センター内)

●もぐもぐ離乳食教室(こもも)

◇日時・場所: 4月12日(火)9時30分～12時30分(受け付け9時15分)◇対象: 一関保健センター◇対象: 27年7月～11月生まれの子供の保護者◇定員・費用: 先着親子12組・無料◇内容: 栄養士・保健師の講話、調理実習など◇申し込み: 4月1日(金)

●子育て支援課(一関保健センター内)

●市民健康講座

◇日時・場所: 4月28日(土)10時～11時30分・一関保健センター◇内容: 「あなたは口コモチイブシンドロームになっていませんか」(口コモチ体操・いちのせき体操)

●健康づくり課(一関保健センター内)、各支所保健福祉課

4月の4歳5歳歯科健康診査

4月中に市内の契約歯科医療機関で受診してください。対象者には3月末に受診券を郵送しています。体調不良などで4月中に受診できない場合は下記へ連絡してください。

健診名	対象者
4歳歯科健診	23年10月生まれ
5歳歯科健診	22年10月生まれ

●子育て支援課(一関保健センター内)

5月のこころの健康相談(無料)

臨床心理士が無料で相談に応じます。

日	場所	時間	定員
9日	一関保健センター	10:00～12:00	4
		13:30～15:30	
16日	室根支所	10:00～12:00	2
23日	藤沢支所	10:00～12:00	2

●健康づくり課(一関保健センター内) または各支所保健福祉課

健康塾 睡眠時無呼吸症候群 ～いびきは体の危険信号～

文・国保藤沢病院

睡眠時無呼吸症候群(SAS)は、睡眠中、1時間あたりに5回以上の無呼吸があり、その無呼吸が10秒以上続く疾患です。症状は、①熟睡感がない②日中に眠気がある③朝すっきり起きられないなどです。これを放置しておく、心臓に負担がかかり心不全、不整脈、狭心症を引き起こすこともあります。また、中等度以上のSASの人は、交通事故を起こす頻度が一般の人に比べ7倍も高いと言われています。

あなたの身近に、睡眠中のいびきで呼吸が止まっている人がいたら、ぜひ一度、医療機関で検査を受けるように勧めてください。

おたふくかぜ

発生、流行予防、医療費の抑制、保護者の負担軽減一するため、予防接種の費用の一部を助成します。かかったことがある人や接種を受けた人は対象外です。

- ワクチン…乾燥弱毒生ワクチン
- 対象者…市内に住民登録している満1歳～2歳未満
- 助成額…4000円(1回だけ) *生活保護・市民税非課税世帯の人は全額助成
- 期間…4月1日～29年3月31日
- 予診票兼接種券…実施する医療機関で交付。本人確認ができるものを持参してください *生活保護・市民税非課税世帯の人は「対象者証明書」を1歳になる前月に郵送します。医療機関に提出しないと助成を受けられません

●受け方…①実施医療機関に予約(必須)②医療機関で配布される「予防接種を希望される保護者の方へ」を読み、接種の可否を判断③接種を受ける場合は母子健康手帳を持参 *下記以外を受診する場合は事前に子育て支援課または各支所保健福祉課に問い合わせてください

大人の風しん

妊婦が妊娠初期に風しんにかかる、子供が難聴、先天性心疾患、白内障、網膜症一の症状がある「先天性風しん症候群」になる恐れがあります。妊娠を希望している人とその夫、家族は接種してください。助成を受けた人は対象外です。

- ワクチン…風しん(単抗原ワクチン)とMR(麻しん風しん混合ワクチン)
- 対象者…市内に住民登録する①昭

和42年4月2日～平成2年4月1日生まれの人②2年4月2日～9年4月1日生まれの人でMR3、4期が未接種の人

- 助成額…MR・4,700円、風しん・3,000円(いずれも1回だけ) *生活保護世帯の人は全額
- 期間…4月1日～29年3月31日
- 予診票兼接種券…実施する医療機関で交付。本人確認ができるものを持参してください *生活保護世帯の人は本庁福祉課または各支所保健福祉課で交付
- 受け方…①実施医療機関に予約(必須)②配布される「予防接種を受ける方へ」を読み、接種の可否を判断

*下記以外で接種する場合、事前に子育て支援課または各支所保健福祉課へ

4 おたふくかぜ・大人の風しんの予防接種費用の一部を助成します

実施する医療機関一覧

医療機関名	電話	おたふくかぜ	風しん
一関地域			
阿部内科クリニック	23-2918	○	○
一関中央クリニック	21-1222	○	○
一関病院	23-2050	×	○
いとう脳神経内科	21-8200	×	○
岩手県立磐井病院	23-3452	○	○
岩手クリニック一関	21-5111	×	○
及川内科胃腸科クリニック	31-3131	○	○
小野寺内科循環器科	23-5600	○	○
笠原耳鼻咽喉科医院	23-4916	○	○
桂島医院	21-8883	○	○
かとうこどもクリニック	33-2211	○	×
菊池医院	23-7100	○	○
木村消化器内科	21-1311	○	○
こいわ耳鼻咽喉科・アレルギー科クリニック	33-2117	○	○
国立病院機構岩手病院	25-2221	○	○
西城医院	28-2393	○	○
西城病院	23-3636	×	○
齊藤産婦人科医院	23-6946	○	○
佐藤胃腸科内科医院	23-9678	○	○
さとう小児科医院	23-4020	○	○
産婦人科野田	23-0608	○	○
昭和病院	23-2020	○	○
すがわら皮膚科クリニック	33-2332	○	○
千葉内科医院	25-3211	○	○
寺崎内科胃腸科医院	23-6211	○	○
中里クリニック	32-5888	○	○
中野内科循環器科クリニック	33-2311	○	○
氷室内科医院	23-3185	○	×

医療機関名	電話	おたふくかぜ	風しん
花泉地域			
菅原内科循環器科医院	82-5528	×	○
誠信堂医院(小児科)	82-3434	○	○
袋医院	82-3316	○	○
蓬田内科医院	36-3336	×	○
大東地域			
菅野内科医院	75-2772	○	○
菊池内科医院	74-2512	○	○
猿沢診療所	76-2020	○	○
吉田内科循環器科医院	71-2131	○	○
千厩地域			
岩手県立千厩病院	53-2101	○	○
奥玉診療所	56-2751	○	○
千厩ひかりクリニック	51-1156	○	○
たかかね内科泌尿器科クリニック	51-1377	○	○
谷藤内科医院	51-3355	○	○
もりあい内科クリニック	51-3322	○	○
東山地域			
阿部医院	47-3898	○	○
ひがしやま病院	48-2666	○	○
川崎地域			
かわさきファミリークリニック	43-3770	○	○
川崎弥栄診療所	43-3114	○	○
藤沢地域			
国保藤沢病院	63-5211	○	○

- ①気仙沼地域については、接種前に医療機関へ問い合わせてください
- ②接種時間や休診日など詳しくは、医療機関へ問い合わせてください
- ③任意の予防接種のため医療機関で接種料金が異なります。医療機関へ問い合わせ、料金を確認してください

●子育て支援課 ☎ 5409 または各支所保健福祉課

行政改革の主な取り組みと財政効果額 ()内はプラン策定時の見込み額

改革項目	主な取り組み	効果額(単位:百万円)					
		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	5カ年度合計
①協働によるまちづくりの推進		7(0)	47(0)	65(0)	80(0)	81(0)	279(0)
協働の推進	市が事務局事務を担っている任意団体などの廃止または事務局の移管	7(0)	47(0)	65(0)	80(0)	81(0)	279(0)
②業務改革の推進		105(87)	184(163)	308(216)	407(281)	465(299)	1,468(1,046)
事務事業の再編整理	財務会計処理事務の見直し/納税貯蓄組合への支援の見直し	14(6)	15(10)	17(10)	17(10)	17(10)	79(45)
補助金等の整理合理化	補助金などの5%削減や見直しによる削減/補助金・負担金の廃止	19(19)	31(35)	53(45)	78(52)	116(55)	298(206)
民間委託などの推進	介護サービス事業の見直し/学校給食調理業務の委託	42(43)	76(69)	140(107)	160(137)	166(152)	584(508)
施設管理運営の見直し	施設の廃止/保育園の統合/小学校、学校給食センターの統合	17(6)	47(33)	66(37)	118(38)	131(38)	380(153)
指定管理者制度の導入	指定管理者制度の導入(花夢パル、藤沢地域のスポーツ施設)	12(13)	15(16)	32(18)	35(44)	35(44)	128(135)
③人材育成の推進と組織体制の見直し		400(406)	751(481)	1,053(673)	1,097(908)	1,157(1,249)	4,458(3,717)
定員管理の適正化など	職員数の削減/時間外勤務手当の削減/職員給与の見直し	400(406)	751(481)	1,053(673)	1,097(908)	1,157(1,249)	4,458(3,717)
④健全な財政運営の確保		163(85)	256(137)	249(208)	464(127)	303(201)	1,433(758)
経費の節減合理化	内部管理事務費の5%削減/公用車の廃止/庁舎維持管理コストの削減	31(11)	48(19)	128(27)	226(37)	214(44)	647(139)
税等の徴収対策の実施	市税、税外収入の収納率の向上	36(21)	71(21)	8(21)	48(21)	34(21)	196(103)
その他歳入確保策	遊休資産、宅地分譲地、工業団地の売却/広告掲載事業の実施	96(53)	137(97)	114(160)	189(69)	55(137)	590(516)
⑤職員削減の重複分(*1)		85(75)	194(124)	333(196)	442(315)	451(334)	1,505(1,044)
効果額合計(①+②+③+④-⑤)		590(503)	1,043(657)	1,342(901)	1,605(1,002)	1,554(1,415)	6,134(4,477)

(*1) 民間委託の推進、指定管理者制度の導入などで削減した職員数の効果額が重複して計上されるため、それを差し引くもの(注) 27年度は見込み額。100万円未満の数を四捨五入しているため、内訳と各計が一致しない場合があります

当市の財政の見通しは、今後、地方交付税の減額など、厳しい状況が見込まれています。は、23年度に策定した「第2次一関市行政改革大綱」と「第2次一関市集中改革プラン」を着実に実行。歳入・歳出全般の見直しを徹底し、行政改革を進めています。～27年度の行政改革の取り組みによる財政効果額は、集中改革プラン策定時の見込み額を16億5,700万円上回る61億3,400万円になる見込みです。

集中改革プランの実施状況や行政改革の推進については、市民15人で構成する「一関市行政改革推進審議会」の意見などを聞きながら、取り組みを進めています。は引き続き、市民起点の市民サービスを提供するため、簡素で効率的な行政運営を推進します。

●本庁財政課 ☎ 8233

5 ワクチンががん予防に効果的

国からの通知により、子宮頸がん予防ワクチン接種の積極的な勧奨を差し控えています。ワクチンの接種を中止するものではありません。

接種を希望する場合は、ワクチン接種の有効性や安全性などを理解して判断してください。詳しくは、厚生労働省のホームページ(<http://www.mhlw.go.jp/>)で確認してください。

入院時の食事代は、食事にかかる費用の一部を患者が、残りを加入している健康保険(社保、国保など)が負担しています。4月から、自己負担額が引き上げに伴って、1食あたり260円から360円に変わります。市民税非課税世帯▶指定難病患者▶小児慢性特定疾病児童▶28年3月31日時点で精神病床に長期入院している人の自己負担額は、据え置きになります。市民税非課税世帯の人で「限度額適用・標準負担額減額認定証」を持っていない人は、加入している健康保険への申請が必要です。詳しくは下記へ問い合わせください。

4月3日 食事代が変わります

世帯の所得状況など総合的に判断して決定し、5月上旬までに文書で通知します。●対象…28年4月現在、高校以上(高専)に在学している人で、その保護者が市内に住民登録して3カ月以上住んでいる人 ●貸与期間・額(月額)…正規の修学期間内・①高校生・1万2,000円②高専生・2万円③大学生(短大、専修学校専門課程含む)など・4万5,000円 ●貸与方法…毎月中旬に奨学生本人名義の預金口座に月額分(奨学金)を振り込みます ●返還期間…卒業後12カ月据え置きで毎月返還(無利息) ●申し込み…～4月13日(水)に下記へ *申請書は、下記窓口または市ホームページで取得できます

●本庁教育総務課 ☎ 8823 または各支所地域振興課

2 経済的な理由で修学が困難な人に奨学金を貸与

独立行政法人国際協力機構(JICA)では、28年度春のJICA ボランティア(青年海外協力隊、シニア海外ボランティア)を募集します。ボランティアの募集期間は、4月1日⑤～5月9日⑥です。詳しくは問い合わせください。

- 体験談・説明会…①4月9日④ 10:00～12:00 ②21日④ 18:30～20:30
- 場所…いわて県民情報交流センター「アイーナ」
- 費用・申し込み…無料・不要

④本庁まちづくり推進課 ☎② 8671

広告入り事務用封筒

- 規格…①角形2号②長形3号
- 窓付きの事務用封筒
- 最低申込枚数…①3万枚②9万枚③7万枚

広告入り窓口封筒

- 規格…①A5型②A4型の封筒
 - 最低申込枚数…①2万枚②3万5,000枚
- 《共通事項》

- 使用期間…8月1日～29年7月31日
- 申し込み…4月1日⑤～22日⑤にそれぞれの担当課へ

④ 広告入り事務用封筒は本庁財政課 ☎② 8233 / 広告入り窓口封筒は本庁市民課 ☎② 8310

「ポイ捨てのないきれいなまち一関」を実現するため、清掃活動に協力をお願いします。事故やけがに注意してください。

- 日時…4月17日⑥ *藤沢地域は3日⑥
- 道路側溝の土砂上げ…国の処理基準が示されていないため、実施しません

④本庁生活環境課 ☎② 8341 または各支所市民課

JICAボランティア 28年度春募集説明会開催

未使用品で出力10^{キロワット}未満の太陽光発電設備*を導入する人に、補助金を交付します。手続きなどについて詳しくは、問い合わせください。
*増設の場合は既設との合計出力が10^{キロワット}未満であるものに限る

- 対象…市内に居住・居住しようとする住宅に太陽光発電システムを設置するもので①～③の全てに当てはまる人
- 補助金額…太陽電池の最大出力1^{キロワット}あたり2万円(上限10万円)
- 定員…100件(500^{キロワット}分)
- 申し込み…4月1日⑤～29年2月28日⑥に本庁生活環境課または各支所市民課で

④本庁生活環境課 ☎② 8341

市が使用する広告入り封筒の無償提供者を募集

一関市道鬼頭明通線・奥州市道谷子沢南前川山線の道路愛称を募集したところ、全国から536件の応募がありました。

選考委員会は▶両市の地名が入ったもの▶どこにある道路かわかるもの▶温泉などの観光イメージができるものなどを考慮して選

④本庁道路建設課 ☎② 8513

行政不服審査法の改正により▶不服申立ての手続きが原則として「審査請求」に一元化▶処分に関与しない職員が指名される「審理員」による審理手続き、外部の有識者で構成される「市行政不服審査会」への諮問手続きを導入(例外あり)▶申立て可能期間が3カ月以内に延長一などに変わります。 *～3月31日の行政処分は、4月1日以後に申し立てる場合でも現行の制度を適用します

④本庁総務課 ☎② 8221

営業所等がある施工業者等または建売住宅供給者と太陽光発電設備設置工事の請負契約や建売住宅の売買契約を締結した人④市税を滞納していない人

- 補助金額…太陽電池の最大出力1^{キロワット}あたり2万円(上限10万円)
- 定員…100件(500^{キロワット}分)
- 申し込み…4月1日⑤～29年2月28日⑥に本庁生活環境課または各支所市民課で

*工事に着手する前に申し込んでください

考。結果、知名度が高い「栗駒山・焼石岳」、温泉をイメージさせるような「ほっと」が含まれた「栗駒焼石ほっとライン」に決定しました。

今後は、道路の案内看板やパンフレットに愛称を表示し、たくさんの人に親しみをもってもらえるように活用していきます。

④本庁道路建設課 ☎② 8513

28年度の広報いちのせき「I-Style」の紙面の一部を広告枠として、制限付一般競争入札で売却します。

広告枠を買い受け、広告の募集などを行う広告取扱希望業者を募集します。詳しくは、市ホームページで確認してください。

④本庁広聴広報課 ☎② 8182

市住宅用太陽光発電システム 導入補助金を交付します

「栗駒焼石ほっとライン」に愛称が決定

広報誌の広告取扱業者を募集

シイタケや山菜類の出荷制限等の状況

今年も露地栽培原木シイタケや春の山菜のシーズンを迎えました。

23年3月に発生した東京電力福島第一原子力発電所の事故による放射性物質汚染の影響で、一関市で採取される露地栽培原木シイタケと山菜6品目に、国の出荷制限指示や県の出荷自粛要請が継続して出されています。【表1】

28年2月末時点で【表1】の品目は「出荷制限の指示」や「出荷自粛の要請」が解除されていないため、販売や譲渡はできません。

菌床シイタケは、出荷制限などの規制がありません。通常に出荷できます。原木シイタケは、生産者ごとに検査を行っています。適正な栽培管理を行い、放射性物質が基準値を下回った生産者から出荷制限等が

【表1】市の出荷制限などの状況

区分	品目	対象地域
国制に限る 指示 出品 荷目	ゼンマイ	市内全域
	ワラビ(野生)	
	タケノコ	
	コシアブラ	
	原木シイタケ(露地)	
	原木ナメコ(露地)	
	原木クリタケ(露地)	
	野生キノコ	
イワナ	砂鉄川	
県自に肅よ要る請出品荷目	乾シイタケ(23・24産)	市内全域
	原木ブナハリタケ(露地)	
	原木ムキタケ(露地)	
	タラノメ(野生)	
	ミズ(野生)	

一 億総活躍社会の実現に向け、賃金引上げの影響を受けにくい高齢者に給付金を支給します。申請先は、27年1月1日時点で住民票のある市町村です。対象と思われる人には、4月20日⑥に案内を送付します。

受け付けが始まる4月は、窓口や駐車場が混雑します。

④本庁農政課 ☎② 8427 または本庁農地林務課 ☎② 8195

解除されています。現在、市内の25人が出荷を再開しています。

汚染ほだ木から発生したシイタケは販売できません

放射性物質に汚染された「ほだ木」から発生したシイタケは、出荷制限を指示されていて、販売や譲渡はできません。万一、市場へのお荷、小売店や産直などで販売した場合、生産者などによる出荷制限の解除に向けたさまざまな取り組みに悪影響を及ぼします。出荷制限を厳守してください。

出荷制限等の山菜類は採取・販売できません

【表1】の山菜類も、露地栽培原木シイタケと同様に販売・譲渡を目的にした採取は行わないでください。

流通販売事業者の皆さんは、出荷制限指示などがある山菜類を店頭で販売しないでください。採取地を十分確認してください。

【表2】主な山菜類の測定結果 (27年4月分～28年2月分)

品目	基準値以下の検体数(うち不検出)	基準値超過の検体数
タケノコ*	49(8)	2
フキ(野生)	21(14)	0
ワラビ(野生)*	14(3)	1
コゴミ(野生)	12(2)	0
タラノメ(野生)*	7(2)	2
ワサビ(野生)	7(2)	0
コシアブラ*	0(0)	6
シドケ(野生)	5(2)	0
ウド(野生)	5(2)	0

- ①品目は測定検体数が5以上のものの一覧です
- ②*は出荷制限などの品目
- ③基準値(一般食品100ベクレル/㎏)に基づいて区分
- ④検出下限値を放射性セシウム25ベクレル/㎏以下になるように設定して測定
- ⑤トリアスラーベクレルファインダー(シンチレーション検出器)による簡易測定
- ⑥測定場所は、南部農業技術開発センター(花泉町金沢)と北部農業技術開発センター(大東町沢沢)

④本庁農政課 ☎② 8427 または本庁農地林務課 ☎② 8195

市内産原木シイタケ(露地栽培)と山菜類の出荷制限等について

タケノコなどが基準値を超えました

27年4月～28年2月に測定した主な山菜類のうち、食品衛生法上の基準値(一般食品100ベクレル/kg)を超えたものは、タケノコ、ワラビ、タラノメ、コシアブラの4品目11検体です。その他の検体は、120検体が標準値を下回り、そのうち35検体が不検出でした。【表2】

自家用山菜類の安全性を確認するため、放射性物質濃度測定を希望する人は本庁農政課または各支所産業経済課に申し込んでください。

セリ(野生)の出荷制限が解除になりました

出荷制限指示があったセリ(野生)は、27年12月21日付けで解除になりました。出荷などを希望する場合は、市の出荷台帳への登録が必要です。本庁農地林務課に問い合わせください。

対象の高齢者に一人3万円を支給します

円(1回限り)
● 申し込み…4月21日⑥～7月29日⑥に郵送または本庁長寿社会課または各支所保健福祉課へ提出してください *窓口は平日8:30～17:15、⑥は19:00まで延長します。⑥が休日の場合は翌開庁日に窓口を延長します。④⑥⑧は申請できません

④長寿社会課 ☎② 8357 または各支所保健福祉課

笑顔で
your smile is wonderful.
Good!

志田玲奈さん

19歳 室根町折壁 しだ・れいな

これまでの応援に恩返ししたい

玲奈さんは、地元の高校を卒業後、昨年4月から市内の金融機関で働いています。小学校から高校までソフトボールのピッチャーとして活躍。高校3年には県選抜選手として東北総合体育大会にも出場しました。現在は、母校の外部コーチとして後輩の指導に当たっています。「ソフトボールで地域の人たちにたくさん応援してもらいました」と話し、地元で働くことで、恩返ししようと考えたそうです。仕事では、笑顔を絶やさないこと、細心の注意を払うことを両立。「覚えることが多いです。お客さまの感謝の言葉が励みです」とやりがいを感じています。今シーズンから始めたスノーボードに夢中。社会人として「常に向上心を持って仕事を続けていきたい」と抱負を話してくれました。



- 好きな季節 夏
- 最近読んだ本 野球ノートに書いた甲子園
- 好きな色 赤
- 行ってみたいところ 京都



市民センターさ、welcome to our citizens hall. ございん。

文・写真 東山市民センター

市民センター単位で各地区を紹介します



東山市民センター

〒029-0302
東山町長坂字町 335-1
☎0191・47・2243



小学生からシニアまで、幅広い年代がスキーを通じて交流します。



唐梅館絵巻には、前夜祭と合わせ二日間で多くの観客が東山に訪れます。

東山市民センターは、一関市のほぼ中央部に位置し、2009年9月に完成した複合施設「一関市東山地域交流センター」内にあります。併設施設には、本格的な音響・照明設備、全350席の客席が完備された多目的ホールがあり、市内だけでなく、県南地区の各種イベント・研修等にも活用されています。

また、東山図書館も併設されています。日本の公共図書館の先駆者・青柳文蔵（東山町松川出身）が創設した「青柳文庫」の蔵をイメージしたデザインで、瓦屋根と重量感のある土蔵風の扉が来館者を迎えます。当センターの特色ある事業の1つとして「世代間交流スキー」があります。運動不足になりがちな冬季に、自然の中で体を動かす、心身のリフレッシュを図ることが目的です。小学生からシニア世代まで、幅広い年代が生涯スポーツとしてスキーを楽しんでいます。地元の一関市スキー協会東山支部の協力をいただきながら、県内各地のスキ

ー場を会場に1〜3月までの間、月1回開催しています。他の市民センターと同様に、各年代に向けた事業を展開しています。また、地域のイベントとしては、毎年9月下旬に開かれる「唐梅館絵巻」があります。唐梅館（長坂城）を居城とした葛西氏の重臣・千葉一族の壮大な軍議を忠実に再現しています。当時、豊臣秀吉が下した小田原参陣の命令に従うか否かを決する場面を総勢300人以上の武将が再現する壮大な時代絵巻です。

ふれーふれークラブ!

our club is doing it's best.



大東中女子バドミントン部

顧問：山蔭理恵 / 部長：足利美空 / 主将：齊藤海音 / 部員：9人

私たち女子バドミントン部は、基礎打ち、フットワーク、ノック、筋トレや体力作りを中心に練習に取り組んでいます。私たちは、協力し合い、困っている人を助けたり、相談に乗ったりと、互いを励ましあいながら、日々活動しています。また、みんな明るく元気でいつも楽しいメンバーです。

部の課題をみんなで確認し、課題に沿ったメニューを決めて練習しています。

6月には中総体があります。残り3カ月、仲間を信頼し、自分に甘えず、部の課題と自身の課題を一つでも多く克服できるように1日1日を大切に練習していきたいです。

文・部長 齊藤海音 (2年)

キッズ写真館

Kid's Photo Studio

鎌田絆那ちゃん(一関)



かまだ・はんな
26年1月1日生まれ
♪貴晴さん・真世さん
ダンスが得意な絆ちゃん♪これから最高の思い出、いっぱい作るうね!

松岡怜音くん(一関)



まつおか・れお
26年5月25日生まれ
♪翔太さん・由華さん
音楽やダンスが上手なれお。これからも元氣いっぱい成長してね?

三浦杏菜ちゃん(千厩)



みうら・あんな
27年6月24日生まれ
♪知訓さん・夕貴さん
生まれて来てくれてありがとう!! 杏菜ちゃんの写真がパパママも大好きだよ。

小学校入学前の子供たちの写真を募集しています

①最近撮影した写真(デジカメ画像可) ②氏名(ふりがな)・性別③住所④生年月日⑤電話番号⑥父母の氏名⑦お子さんへのメッセージ(30字程度)を記入して応募してください<応募先>本庁広聴広報課 / 〒021-8501 広聴広報課 / 電子メール kouhou@city.ichinoseki.iwate.jp



電話料を節約するなら断然おトクなケーブルプラス電話

ポイント1 月額基本料がおトク!

1,600円/月 → 1,330円/月 (年間3,240円おトク!)

ポイント2 通話料がおトク!

遠くの友達とも、いつでも安心してお話しできます!

auの加入電話とくらべて約63%おトク! | auの加入電話とくらべて約48%おトク!

ケーブルプラス電話で auスマートフォンの auまとめてトーク auケータイとの通話もおトク!

日本全国のauスマートフォン・auケータイ 約4,460万回線への国内通話無料!

「ケーブルプラス電話」のサービスを受けるにはICNのテレビもしくはインターネットを既にご利用いただいている、または新たに加入していただくことが条件となります。新たに加入していただく場合、引込工事等の費用が発生致します。詳しくは当社までお問い合わせください。

お申し込み・お問い合わせは **株式会社一関ケーブルネットワーク**

一関市八幡町1-24 TEL 0191-21-1256 FAX.0191-21-2959 受付時間/9:00~18:00

解体のことならお任せください。一般住宅・車庫・物置・倉庫から工場まで

廃棄物のリサイクル・中間処理も自社で行っております。

- コンクリート・アスファルト廃材の受入れ・再生砕石の生産
- 再生砕石の販売 [土場渡し価格m³当り 1,080円(税込)]
- 4tダンプ1台あたり(運搬込み) 一関地区 **4,860円(税込)**
- 廃木材(解体材・パレット類・伐根等)受入れ・チップ化
- 環境にやさしいチップ化で、ボード原料・燃料化を促進しています。

見積無料

産業廃棄物収集運搬業 岩手県知事許可番号 0304021279 産業廃棄物処分業 岩手県知事許可番号 0344021279 一関市東山町田河津字野土81-2 TEL.0191-35-1130 URL http://n-kaitai.ftw.jp/

有限会社 **中村解体**

広告に関するお問い合わせは

岩手日日新聞社営業局まで

TEL0191-26-5111

一関市東台 14-37

毎月2回、市内全世帯に配布される「広報いちのせき」は、市民生活に欠かせない情報源として親しまれております。

お知らせ

INFORMATION

募集

28年度北上川一斉清掃

川を清掃し、河川愛護の心を育みます。軍手・ゴミ袋は主催者が準備します。

◇日時：4月16日④9時～11時
 ◇場所：①一関水辺プラザ(あいばーと) ②川崎水辺プラザおよび砂鉄川(川崎防災ステーション) ③花泉町日形(北上川堤防)
 ④国土交通省岩手河川国道事務所一関出張所☎2435

恋せよ、館ヶ森アーク牧場

館ヶ森アーク牧場で「恋活」イベントを開催します。受け付け時間など詳しくは問い合わせください。
 ◇日時：5月28日④9時～16時
 ◇場所：館ヶ森アーク牧場◇対象・定員：20代～40代の男女・それぞれ30人 *抽選で決定。男性は顔写真の提出が必要

いわいの桜あゆみ展・ふたたび

新たな資料や証言を加え、磐井川堤防の桜の歴史に関する資料、写真や絵画を展示します。
 ◇日時：4月7日④～18日⑨9時～17時 *18日⑨は16時◇場所：なのはなプラザ◇費用：無料
 ①一関市民センター☎2148

地域おこし事業プレゼンテーション

応募団体によるプレゼンテーションを行います。
 ◇日時：4月24日⑨9時45分～◇場所：市役所本庁
 ①まちづくり推進課☎28671 または各支所地域振興課

掲示板

waku work (わくわく) てづくり市

陶器、アクセサリーや雑貨などの約28店舗が勢ぞろい。手作り体験が楽しめます。入場は無料です。
 ◇日時：4月23日④、24日⑨10:00～16:00
 ◇場所：徳田交流館(藤沢町徳田)
 ①菊千(菊地)☎080・8210・0350

市ゴルフ協会ゴルフ大会

◇日時：5月1日⑨
 ◇場所：南岩手カントリークラブ
 ◇対象：市内に居住または通勤する人
 ◇費用：2,000円 *プレー費は各自で
 ◇申し込み：4月23日④に申込書を下記へ(必着) *電話不可
 ①南岩手カントリークラブ☎2300

子ども総合武道教室体験会

武道・格闘技を体験できます。心と体を鍛えませんか。参加は無料です。
 ◇日時：4月6日④、13日④、20日④18:30～19:30
 ◇場所：狐禅寺市民センター *20日④は市総合体育館
 ◇対象：年長～小学生
 ①龍武会スポーツ少年団(千葉)☎090・3980・0499

一関短歌同好会「游の会」

一緒に短歌を作ってみませんか。作品は月に一度、岩手日日新聞の岩手文芸コーナーに掲載されます。
 ◇日時：毎月第3③13:30～15:00
 *変更の場合あり
 ◇場所：なのはなプラザ
 ◇対象：市内に居住または通勤する人
 ◇費用：1万2千円(年会費) *合同歌集代含む
 ①游の会(千葉)☎2804

日中友好のための中国語講座

日常会話を中心に、中国語を学びます。
 ◇日時：4～7月の第1・2・3④14:30～16:00
 ◇場所：一関文化センター
 ①日本中国友好協会一関支部(鳥貴)☎4167

市営住宅等の入居案内

番号	募集する住宅
① 大東	大明神団地42号 ①木造平屋②H9③3DK④28,100～41,800円⑤单身不可・身障者専用
② 大東	沼田第2団地4号 ①木造平屋②H13③2DK④20,900～31,200円⑤单身不可
③ 大東	摺沢駅前特定公共賃貸住宅4号 ①木造2階建1階②H13③1DK④28,600円⑤单身可
④ 大東	摺沢駅前特定公共賃貸住宅7号 ①木造2階建2階②H13③1DK④28,000円⑤单身可
⑤ 東山	松川特定公共賃貸住宅40号 ①木造平屋②H11③3DK④40,000円⑤单身不可
⑥ 室根	折壁団地2-2号 ①簡易耐火平屋②S51③3K④7,900～11,700円⑤单身可
⑦ 室根	新館前特定公共賃貸住宅3号 ①木造平屋②H11③3K④45,000円⑤单身不可

◇募集期間：4月4日⑨～11日⑨(④⑨除く)
 ◇入居資格：①収入が基準に該当する②住宅に困っている③市税などを滞納していない④暴力団員でない⑤を満たしていること *①②⑤⑦は同居の親族がいること。①は身体障がい者専用住宅(選考基準あり)
 ◇抽選会：4月20日④10:00～・大東支所、東山支所、室根支所
 ①本庁都市整備課☎28541

催し

800円◇申し込み：4月1日④～30日④に所定の用紙で
 ①事務局☎2121

第46回岩手県南宮城県北神楽大会

東日本大震災からの復興を祈念し、12団体が舞を披露します。◇日時：4月29日④⑨9時開会、9時30分開演◇場所：厳美中学校◇費用：1000円(プログラム代を含む)
 ①事務局☎2205

フラワーフェスティバル

花苗・鉢花の販売や子供縁日などの催しを開きます。
 ◇日時：4月23日④10時～13時◇場所：ルンルン(秋荘字大袋)
 ①ルンルン☎3115

新鮮な農産物を販売「日曜朝市」

◇日時：4月3日～12月4日の毎日 *4～10月は5時30分～7時、11～12月は6時～7時◇場所：一関文化センター西側広場
 ①市農業委員会☎28692

健康の森の「自然観察会」

◇日時・内容：①4月16日④、17日④・ミズバショウを観よう②23日④・春の妖精③4月30日④・イワウチワの群生 *いずれも9時30分～12時◇費用：大人100円 *

花きセンターまつり2016

花壇苗などの販売やフラワーアレンジメントなどを展示します。
 ◇日時：4月29日④⑨9時30分～15時◇場所：県立花きセンター(金ケ崎町六原頭無2-1)
 ①県立農業大学校研修科☎0197432107

講座

障がい者ふれあい事業

◇内容・期日：①書道：5月9日～第2・4⑨(全14回)②ペタンク：8月8日～第2・4⑨(全8回)③カラオケ：5月11日～第1・3④(全14回)④民謡：5月25日～第4④(全8回)⑤料理：5月13日～第1④(全8回)⑥表具：5月12日～第2・4④(全8回)⑦生け花：5月19日～第3④(全8回)⑧編み物：5

草木染め教室(春の色)

染めたい布(化繊以外)を持参してください。
 ◇日時：5月8日⑨10時～14時◇場所：いちのせき健康の森◇定員：先着15人◇費用：中学生以下100円、大人400円◇申し込み：4月8日④左記へ電話で
 ①いちのせき健康の森☎2020

◇費用：男性5000円、女性1500円(それぞれグループ割引あり)◇申し込み：5月13日④に氏名・性別・年齢・携帯番号を左記へ連絡 *当団体への会員登録が必要。年会費は無料です
 ①フアンズポルト一関☎4677
 ◇募集内容：忘れられない風景・景色とそのエピソード◇応募方法：5月9日⑨必着でホームページ(<http://www.nhk.or.jp/kokoroai/>)または郵送(〒150-8001NHK「こころ旅」係宛)で◇放送：6月13日⑨、17日④・NHK・BSプレミアム
 ①NHKふれあいセンター☎0570066066(付替) *利用できない場合は☎05037865000

岩手県民長寿文化祭第28回 作品展 出品作品

作品の規格や申込方法など、詳しくは問い合わせください。
 ◇期日：6月3日④～5日⑨◇場所：盛岡市民文化ホール「マリオス」◇対象：県内在住で60歳以上のアマチュアの人◇募集作品：日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真 *各部門1人1点まで◇費用：す。

ぼたん・しゃくやく祭り

早咲きから遅咲きまで4千本のボタンが楽しめます。
 ◇日時：4月29日④⑨～6月5日⑨9時～17時◇場所：花と泉の公園◇費用：大人500円、小中学生250円(入園料)
 ①花泉観光開発☎4066

賢治が見た鉱物の不思議

鉱物の偏光写真や、宮沢賢治の卒業論文を展示します。4月23日④～24日⑨は、偏光顕微鏡を使った鉱物観察会を行います。
 ◇期日：4月23日④～9月22日④◇場所：石と賢治のミュージアム◇費用：大人300円、高校生・大学生200円
 ①石と賢治のミュージアム☎3655
 ①一関市民マラソン大会
 陸上競技場のトラック改修完了を記念してマラソン大会を開きます

第25回一関市長杯争奪車椅子ゲートボール東北大会

◇日時：5月14日④8時50分～◇場所：市総合体育館
 ①サン・アビリティーズ一関☎/℡

軽減税率対策セミナー

税率引き上げにともなう経過措置やインボイス制度などについて税理士がわかりやすく解説します。
 ◇日時：4月25日⑨14時～16時◇場所：一関文化センター◇定員：80人◇費用：無料◇申し込み：4月20日④左記へ電話で
 ①一関地区法人会事務局☎24243

●4月の納税：固定資産税1期の納付月です。納期限は5月2日⑨です。期限内に納付しましょう。①一関市納税貯蓄組合連合会

3/5 苦難を乗り越え販売を再開 原木シイタケ

原木シイタケ販売会（一関農林振興センター主催）は3月5日、道の駅かわさきで行われました。

国が定める基準をクリアして、出荷制限を解除された生産者らが販売を再開。原木シイタケの産地再生を目指し、訪れた人たちに安全とおいしさを強調しました。

当日は、生シイタケ、乾シイタケともに好調な売れ行き。準備した試食も終了時間を待たずになくなり、生産者たちは胸をなでおろしていました。

花泉町の生産者・佐藤三喜雄さんは「やっと販売にこぎつけた。長い道のりだった」と感慨深げに話します。

全国有数のシイタケ生産県の岩手で、当市は主力産地の一つでした。しかし、2012年4月、国から当市産乾シイタケの出荷制限指示が、同年7月には、ほだ木（原木にキノコの菌を植えたもの）の使用制限

指示が出されました。

市が原発事故後、355人いた生産者に対して行った調査では、約7割が生産を再開しないと答えるなど大打撃を受けました。

県は12年10月に「出荷制限地域でも県の実施要領に基づき生産し、放射性物質の基準値を下回れば国に個別解除の要請を行う」という方針を提示。これを受け生産者は、手塩にかけて育てたほだ木271万本を処分。再生産に向けて、ほだ場（ほだ木を並べる場所）を繰り返し除染しました。

そのかきもあって、市に出された国の出荷制限は、施設栽培が2013年12月に解除、露地栽培は15年4月から一部が解除されています。

現在43人の生産者のうち施設栽培10人、露地栽培9人、施設と露地で栽培している6人、合わせて25人が出荷を再開しています。

興田中3年生は、「地元を愛すること」を地元の復興支援に位置づけ、生徒が撮影した写真と思いを載せたポスターを作成しました。また、出荷制限などを受けている地元の特産品・原木シイタケについて学んだり、シイタケを使ったレシピを考案。安全・安心とおいしさをPRする活動を行っています。

同校では、震災の教訓や防災への意識を高めるため、2012年から震災学習と防災教育を開始。沿岸被災地を訪ねて、復興支援などを行っています。28年度は、デザインしたシイタケなどのゆるキャラでマスクングテープを作成。東京都のアンテナショップで販売する予定です。

3年生が作成したポスター。地域の復興を願って作られた



3/11 地元中学生が自慢の特産品を対外的にPR



ライフラインの断絶、家屋の倒壊や放射性物質による汚染問題など当市にも甚大な被害を及ぼした東日本大震災。

あの日から5年が過ぎました。

津波により甚大な被害を受けた沿岸被災地。

未曾有の大震災は、当市にも大きな爪痕を残しました。

5年がたった今、求められることは震災を「運命」だったと過去の出来事にするのではなく、「教訓」として未来へ生かすこと。

3月11日は「犠牲者の冥福を祈り、復興を願う日」、そして「震災と向き合い、未来のために何ができるかを考える日」です。各地で行われたイベントをレポートし、あの日を振り返ります。



1_苦難を乗り越え販売再開。地元産のシイタケを待ちわびていたという声も多かった/
2_試食で折り紙付きのうまさをPR/
3_「続けて良かった」生産者の目には熱いものが/
4_これからも「いわての原木しいたけ」として販売に力を入れる

決して諦めず、地道に取り組みことで、内陸にも復興のつち音が響き始めました。一方で、稲わらや牧草などの農林業系汚染廃棄物の保管・処理、山菜やきのこ類の出荷制限など、未解決の課題も山積んでいます。

それでも、シイタケ生産者は諦めませんでした。逆境に立ち向かうため、生産者と関係機関・団体が丸になりました。試験栽培、除染を繰り返すし、ついに基準をクリアするシイタケを栽培。施設栽培は13年12月から、露地栽培は15年4月から一部が解除されています。

内陸に響く復興のつち音 原発事故による放射性物質汚染の影響で、大打撃を受けた品目があります。原木シイタケです。

2012年4月、国から当市産乾シイタケに出荷制限指示が、同年7月にはほだ木に使用制限指示が出されました。当市では、ほだ木約271万本を処分。生産者は激減し、産地の再生は困難だといわれました。

東日本大震災は、市民の心と生活に、大きな爪痕と消せない記憶を刻みつけました。

また、東京電力福島第一原子力発電所事故に起因した放射性物質は、農林業などに甚大な被害を与えました。市は、今もなお、放射線という「見えない恐怖」から安心を取り戻すため、さまざまな取り組みを進めています。

2011年3月11日午後2時46分、東日本大震災が発生。観測史上最大級のマグニチュード9.0の巨大地震が東日本を襲いました。市内は本震で震度6弱の揺れを観測。強い揺れでライフラインは寸断され、停電の回復に5日、断水の解消に13日かかりました。道路被害も多発。供給が途絶えたガソリンや灯油などの燃料も不足しました。

生活がようやく落ち着きを取り戻しつつあった4月7日、再び震度6弱の地震が発生。市内は再び停電・断水に見舞われ、相次ぐ強い揺れで多数の住家被害がありました。また、東京電力福島第一原子力発電所事故に起因した放射性物質は、農林業などに甚大な被害を与えました。市は、今もなお、放射線という「見えない恐怖」から安心を取り戻すため、さまざまな取り組みを進めています。

3/11 3月11日追悼夢あかり 祈りと思いを夢あかりに託して

東日本大震災の発生から5年を迎える3月11日「追悼夢あかり一関」（同実行委員会主催）は、市役所本庁前の噴水広場で行われ、市内外から約350人が犠牲者の冥福を祈り、被災地の早期復興を願いました。

参加者は阪神・淡路大震災で被災した神戸市の「神戸希望の灯り」を、「3・11」の形に並べた夢あかりに点灯。復興を願ったり、被災者を励ましたりするメッセージが描かれた約400個の夢あかりが辺りを照らしました。

当日は平泉学童保育「すぎのこくら

ブ」の児童と一関修紅高音楽部員が復興支援ソングを合唱。津田幸男さんがオカリナを演奏し、人々の心を癒やしました。

一関修紅高の志羅山ひかりさん（2年）は「記憶を風化させないように支援活動を続けたい」と震災復興に思いを寄せ、初めて参加した山目町の加藤由美子さん（45）と麗央ちゃん（5）親子は「震災で地域の絆の大切さを実感した。復興はまだまだ。これからも被災地を応援していきたい」と被災地にエールを送りました。



3/13 教訓を生かし、災害に備える 「防災フォーラム」

「防災フォーラム」は3月13日、川崎市民センター大ホールで行われ、約200人が防災の専門家の講演や自主防災組織の研修報告に熱心に耳を傾けました。

講演の講師を務めたのは、岩手大で県内の火山活動を研究している土井宣夫教授。「栗駒山の最近1万年間の噴火史と災害例」と題し、栗駒山が噴火した場合に想定される被害について、事例を紹介しながら説明しました。土井教授は「山の監視体制の強化が必要。また、噴火の影響で飲料水が使えなくなった場合の対策も講じるべき」と話し、警鐘を鳴らしました。

参加者からは「火山灰はどの範囲まで降るか」「東日本大震災の火山活動への影響は」などと質問が相次ぎ、防災への関心の高さがうかがえました。

報告で一関地域自主防災組織連絡協議会の熊谷典男会長(79)は、東京で行われた「全国自主防災組織リーダー研修会」の内容を報告。カスリン台風で被災した自らの体験を交え「災害発生時にリーダーとなる『防災士』の資格者を増やすべき」と訴えました。

同フォーラムは、市が2012年に制定した「となりきんじょ防災会議の日」に合わせて毎年開催。今年で5回を数えます。講演や防災組織などの活動報告を通じ、市民の防災知識の普及を進めています。



栗駒山では、少なくとも最近1万年間に水蒸気噴火が11回、マグマ噴火が5回起きています。噴火の被害は、噴石や火山灰だけではなく、酸性の水が磐井川に流れ込み、農工業用水や飲料水が3年以上使えなくなります。噴火の前には「火山性地震」が頻発します。登山をするときは、地震に警戒してください。マグニチュードが小さかったり、回数が少なかったりしても要注意です。日頃からの情報収集が命を守ります。



岩手大学教育学部
地質学を専門とする
土井宣夫教授
八幡平市・64歳

2/19 地域全体で「当時」を振り返り 「もしものとき」に備える

中里まちづくり協議会の第2プロジェクトチーム(安全・安心の確保を推進するチーム)は2月19日、中里3～6民区の防災マップを完成させました。

同マップは、今年1月から作成を開始。一関市GIS地図を活用し、同地区内の危険箇所、避難場所、消防関連施設、災害時要配慮者の情報など、緊急時に必要な知識や情報を加えたものです。同地区の自主防災組織、民生児童委員、保健推進委員などの各分野の知識を集結して作成しました。

作成にあたり、チーム員は地域の特性や資源などについて学習。また、危険箇所などに足を運んで現地の確認を行いました。従来の防災マップと比較して、標高などの数値で表されていたものを地図

上に示すことで浸水区域などが具体化。漠然としていた地域の状況を正確に把握できるようになりました。

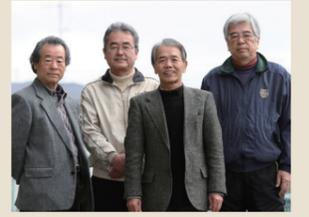
同チームの高橋喜久男リーダーは「震災から5年経過した。歳月と共に、当時の記憶は薄れてしまう。防災マップは、防災への意識を呼び起こすために役立たせたい」と話し、千葉仁サブリーダーは「防災マップの完成がゴールではない。まず、4つの民区が先立ち、これから全13区に広げていく。作成した地図も、常に改善・更新していきたい」と防災への決意を新たにしていました。

今回完成した防災マップは、中里3～6民区分。中里市民センターと各行政区で保存し、地域の防災・減災活動に役立たせます。



中里まちづくり協議会
第2プロジェクトチーム

高橋喜久男
千葉仁
寺澤喜憲
千葉政弘



中里は、カスリン台風などで水害に遭ったこともあり、自主防災意識は高い地域です。地域全体の防災マップはありましたが「自分の民区はどうなるのか」と疑問に感じ、民区ごとのきめ細かい地図が必要だと思っていました。作成する段階で、自分の地域の危険なところや安全なところを再確認できました。地域に住む人々には、備蓄をしたり、防災ハンドブックを読んだりして防災への意識を高めてほしい。日頃からの心構えが大切です。

「忘れない」という一歩
2016年3月、JAいわて平泉はあの日を振り返るため炊き出しを、一関図書館では、津波や地震に関する図書や防災グッズを集めた企画展を実施。そのほか、中里まちづくり協議会では、災害などの緊急時に備えて防災マップを作成するなど、それぞれの団体で「震災を振り返る」活動が開かれています。

東日本大震災を「運命だ」と過去の出来事にしてしまおうのか、「使命だ」と教訓を未来へ生かすのか。今後5年、10年の私たちの行動には、地域の明日、まちの未来がかかっていると、言っても過言ではありません。

5年がたった今、私たちにできること。それは、愛する人の命や大切な財産を守るために、震災を振り返ることです。あの日、何が起きたのかを振り返り、何ができて何ができなかったのかを検証する。それが、震災の風化を防ぎ、明日への道しるべになります。

風化を防ぎ、明日に備える
NHKの「被災者7000人の声アンケート」(平成27年)によると「震災の風化を感じていきますか」という質問に対し「そう思う」「ややそう思う」と答えた人が78.6%。また「どのような場面で感じるか」という質問に対して「政府の支援策」「メディアの取り上げ方」「被災地以外の人との会話」の順に多くなっています。

震災の風化を感じる一方で、大切な人の命、家や仕事を失った人の悲しみやつらさは決して癒やされることはありません。

市は震災の記憶を風化させないため、震災の教訓を語り継ぐため、3月11日を「となりきんじょ防災会議の日」に制定。家庭、職場や地域で身近な人と防災について話し合い、災害に対する備えを確認する日に決めました。

3月11日は、犠牲者の冥福と復興を願うとともに、今後の進むべき道を考える日です。

2/26~ 視覚で訴える 震災の記録 東日本大震災展



東日本大震災企画展「5年目の3.11～風化させない、忘れまい」は2月26日から3月23日まで一関図書館で開かれ、利用客などが足を止めて展示に見入っていました。

同展には▶当時の広報誌▶震災、地震や津波に関連する図書▶非常食や非常用グッズなどを展示。市内の被害、被災地への後方支援や放射線に関する記録を確認できる内容になっています。児童コーナーには、児童向けの防災や地震に関する絵本などを展示。さまざまな視点から、震災を見つめ直すことができる企画展です。

展示した図書は、3月25日から貸し出しを開始。小野寺篤館長は「市民の皆さんが『3.11』を思い出すきっかけになってほしい。震災の風化を防ぐ一助になれば」と願っていました。

JAいわて平泉による炊き出しは3月11日、JR一ノ関駅前で行われ、駅利用者など約400人が地元産の食材を使った豚汁を味わいました。

開始式で、関係者らは約1分間黙とう。佐藤鉦一代表理事組合長は「悲惨な大震災から5年。復興支援を続けてきたが、まだまだ復興の道半ば。震災当時を振り返り『食は命』を実感してほしい」とあいさつしました。その後、JA女性部が調理した豚汁400食分を駅利用者などに提供。一関高専2年の菅原大樹さんは「おいしくて、心が温まった。今日は当時を振り返って過ごしたい」と大勢の優しさが込められた豚汁を味わっていました。

炊き出しは、震災当時を振り返り、食の大切さを実感するために企画されたもの。同日は、県内の各JAがそれぞれの地域でイベントを開きました。



3/11 あの日を振り返り 「食の大切さ」 思い出す

わたしの夢 | <第54回> | 磐清水小

新幹線のフォルムが好き 将来は盛岡・八戸を結ぶ はやてを運転したい



DREAMS COME TRUE

夢は見るものじゃなく、叶えるもの

松川直人さん

まつかわ・なおと
磐清水小6年

磐清水小では、毎日、みんなで「朝マラソン」をしています。あいさつ運動と合わせ、全校生徒で取り組んでいます。好きな教科は算数です。お母さんの職場で、大人が出した問題をスイスイ解いたら驚かれたことがきっかけです。憧れの人は近所に住む伊藤親吉さんです。登下校を見守ってくれたり、陸上のコーチをしてくれたり。人のために動く姿は素敵だと思います。今は新幹線に興味があります。本で名前を調べたり、機体の連結を見に行ったりします。将来は新幹線の運転手になりたいです。中学校ではサッカー一部に入り、勉強と両立したいと考えています。

編集後記

▼今年も一閃から野球、ソフトボールなど春の全国大会に出場する選手が数多くいます。取材で感じたこと。大きな声のあいさつ。指導者、用具、練習場所への感謝。そして何よりひたむきな練習。選手たちの行動は、全て業務に通じることでした。健闘を祈ります。(伊東吉光)

▼妻がインフルエンザでダウン。初めて娘に弁当を作りました。「どうだった」とたずねると「味がなかった」との弁。あ、味付けね。(高橋英義)

▼「3月11日追悼夢あかり」の取材。写真を撮りながら、震災の犠牲者のご冥福を祈りました。広報という仕事を通して、被災地復興の一助になればと願っています。(吉住優)

▼1年はあつという間。28年度がまもなく始まります。大切な友人の一人が、結婚のために上京。とてもうれしい！でも、やっぱり寂しい。春は出会いと別れの季節です。一期一会、28年度も一つの出会いを大切にしたいです。(小野寺裕香)

